

事業報告書

とやま まちづくり市民討議会 2013

「あなたの声を 届けませんか？」

主催 富山市・公益社団法人 富山青年会議所

- 平成25年6月29日(土)・30日(日)
- 富山国際会議場 / 201・202

目 次

I 事業概要

- 1 本報告書の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- 2 「とやま まちづくり市民討議会 2013」開催に至る経緯・・・・・・・・・・P3
- 3 「とやま まちづくり市民討議会 2013」開催概要・・・・・・・・・・P3～P8

II 討議結果

- 1 討議テーマ1：『地産地消について』
 - ◆ 6月29日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・P9～P15
 - ◆ 6月30日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・P22～P28

- 2 討議テーマ2：『とやまのプロスポーツを通じた地域（まち）の活性化について』
 - ◆ 6月29日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・P16～P21
 - ◆ 6月30日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・P29～P35

III アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・P36～P48

<参考資料>

- 1 市民討議会 開催案内書・・・・・・・・・・・・・・・・・・P49
- 2 富山市 情報提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・P50～P68
- 3 ㈱カターレ富山 ㈱富山グラウジーズ
 ㈱富山サンダーバーズベースボールクラブ 情報提供資料・・・・・・・・・・P69～P91
- 4 開催風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・P92～P93
- 5 新聞 掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・P94～P95

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所（以下、富山 JC）と富山市が共催で実施した「とやままちづくり市民討議会 2013」（以下、市民討議会という。）における参加者の討議結果を報告書としてまとめるものです。

2. 「とやま まちづくり市民討議会 2013」開催に至る経緯

市民が市政に参画する手法は数多くありますが、消極的で自主的に物事を発言しようとしなない人々が市政に参画することは極めて少ない現状です。多くの一般市民は「まちづくりは行政や市民団体が行うものである」という依存した考え方を持っている一方で、地方自治体においては限られた財源で多くの課題に取り組まなければならない、厳しい行政運営を迫られています。

このような状況である今こそ、地方自治体は行政サービスの受け手である市民と協働してまちづくりを推進し、地域に適した自治の手法を構築することが求められています。富山 JC は富山市と共催で、市民の行政への参画意識の高揚を図り、市民の声を幅広く集約し、そして行政の施策に反映するための手段として、このたび4回目の市民討議会の開催に至りました。

3. 「とやま まちづくり市民討議会 2013」開催概要

(1) 開催日時

2013年6月29日(土) 10:00～15:00

2013年6月30日(日) 10:00～15:00

(2) 開催場所

富山国際会議場 2F 201・202号

(3) 参加者選出方法

住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民1,000名にチラシ・開催案内状を送付し、参加希望者の中から抽選で、25名×2日間 計50名の参加者を決定しました。

開催1週間前から前日にかけて欠席の連絡を受けた13名の補充を、落選通知者への電話連絡等で試みた結果として、29日は25名、30日は25名 計50名の参加となりました。

* 2011 年度 からの返信数他 実績一覧

	2013 年度 実績		2012 年度 実績		2011 年度 実績	
参加定員数	50		50		50	
案内発送数	1,000		1,000		1000	
返信数	324	32.40%	378	37.80%	369	36.90%
参加可能数	66	20.40%	73	19.31%	54	14.63%
見学数(希望)	2	0.60%	7	1.85%	1	0.27%
不参加数	256	79.00%	298	78.84%	314	85.09%
参加数	50		45		49	

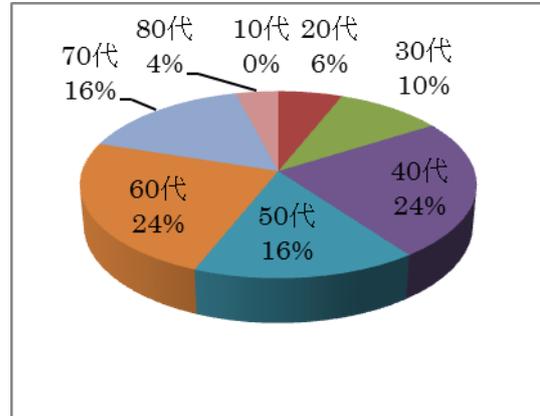
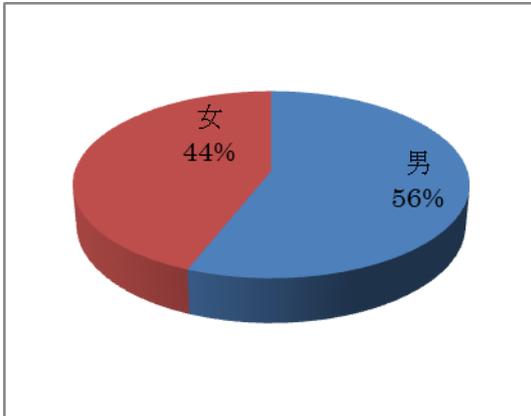
(Ⅰ) 2013年 返信者内訳(参加可能者)

年齢	合計	男	女
10代	1	1	0
20代	3	2	1
30代	10	5	5
40代	13	6	7
50代	8	6	2
60代	14	7	7
70代	12	6	6
80代	3	2	1
90代	1	0	1
明記なし	1	0	1
合計	66	35	31

(Ⅱ) 2013年 参加者内訳

年齢	合計	男	女
10代	0	0	0
20代	3	2	1
30代	5	3	2
40代	12	6	6
50代	8	6	2
60代	12	5	7
70代	8	5	3
80代	2	1	1
90代	0	0	0
明記なし	0	0	0
合計	50	28	22

参加者内訳(円グラフ)



(Ⅲ) 2013年 不参加理由

理由分類	不参加理由	人数
	興味はあるが都合がつかない	117
	興味なし	36
	その他	99
	計	252
	無記入	4

※2013年 不参加理由 区分内訳

区分	理由	人数
興味あり	仕事のため	0
	旅行のため	0
	予定があるため	0
	家事・育児・介護のため	0
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	2
	高齢のため	1
	県外在住のため	0
	その他	2
	無記入	112
	計	117
興味なし	仕事のため	0
	旅行のため	0
	予定があるため	0
	家事・育児・介護のため	0
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	1
	高齢のため	0
	県外在住のため	0
	その他	0
	無記入	35
	計	36
その他	仕事のため	19
	旅行のため	2
	予定があるため	5
	家事・育児・介護のため	7
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	37
	高齢のため	15
	県外在住のため	4
	その他(テーマに興味がない4名 税金の無駄1名 人前での議論が苦手1名)	6
	無記入	4
	計	99

(4) 討議テーマ

討議テーマ1：『地産地消について』

討議テーマ2：『とやまのプロスポーツを通じた地域（まち）の活性化について』

(5) 討議進行方法

- 1 自己紹介
- 2 係決め
- 3 情報提供
- 4 討議 意見抽出・まとめ
- 5 発表
- 6 投票
- 7 投票結果の発表
- 8 講評

(6) 当日のタイムスケジュール

時 間	所要時間 (分)	内 容
9:30～10:00	30	受付
10:00～10:20	20	開会式 (挨拶・趣旨説明・進行説明)
10:20～10:35	15	自己紹介・係決め
10:35～10:55	20	情報提供 『地産地消』について
10:55～11:00	5	テーマに関する質問
11:00～11:35	35	討議 意見抽出
11:35～11:45	10	討議 まとめ
11:45～12:05	20	討議 発表・投票
12:05～12:10	5	討議 投票結果発表・講評
12:10～13:00	50	昼食・休憩
13:00～13:40	40	情報提供 補足説明 『とやまのプロスポーツを通じた 地域 (まち) の活性化』について
13:40～14:15	35	討議 意見抽出
14:15～14:25	10	討議 まとめ
14:25～14:45	20	討議 発表・投票
14:45～14:50	5	討議 投票結果発表・講評
14:50～15:00	10	投票アンケート・事務連絡
15:00		閉会式

II 討議結果

開催日毎・テーマ毎の討議結果として、各グループのまとめと投票結果を報告します。

討議テーマ 1：「地産地消について」

6月29日（土）開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議中に 出された意見	<ul style="list-style-type: none">・地場もん屋の場所が分かりづらい・地場もん屋の出張・訪問サービス・地場もん屋でしか買えない物をアピール・朝市情報のPR・米は県産がおいしい・金額が高いと他県の安い物へ・ブランド化・他県との差別化・名前で安心感がある・食のイベントの実施(特産まつり)・中華街市のような大きなイベント(大和などで)・スポーツ大会の景品などに利用してもらう
意見抽出	<ul style="list-style-type: none">●PR不足<ul style="list-style-type: none">・富山市の広報で宣伝すればよい・地場もん屋総本店はわかるが、その他の地域店や加盟店が分からない・レシピ等を一緒におく (店の場所が分かり商品を買に行ったときレシピなどがあれば、より買う気になる)●富山市の条例でスーパーに一定量を置く<ul style="list-style-type: none">・スーパーのコーナーに地場産品を目立つように・スーパーに協力してもらう
まとめ	<ul style="list-style-type: none">・PR不足を補うため、富山市の広報などでもっと地場産品を宣伝すれば良い。商品にはレシピをつける。・富山市の条例などでスーパーの一角に必ず地場産品コーナーを作るようにする。(目立つところに)

Bグループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産のものがおいしくない ・ 欲しい野菜に県産のものが無い(地場産品の種類が少ない) ・ 地産地消のコーナーが少ない→買えない ・ 県産の野菜がスーパーに少ない ・ 富山米はおいしい ・ 豚、牛は国内産を買うが県内産は買わない(氷見牛高い→買えない) ・ 肉はおいしい他県の物を買う ・ 一次産業者の六次産業への参入 ・ 食育の際に県産野菜の利用が少ない
<p>意見抽出</p>	<p>① 量・種類の問題 → 県産を選ぶ機会が少ない</p> <p>② 知識の問題 → 全般的にPRが少ない</p> <p>③ 利便性の問題 → 地場もん屋が街中で交通不便 食育の際に連携が必要</p>
<p>まとめ</p>	<p>意見抽出より3つの問題の中から①の「量・種類の問題」を選択する</p> <p>地産地消を行いたいを選べない</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>欲しいものがスーパーにない 絶対量が少ない(種類・物量)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>市民農園の使用量が高い(もっと安く)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>耕作放棄地の活用</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>行政に指導管理を行ってもらい地産につなげる</p>

Cグループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産の野菜は高い ・ 金儲けに走っている ・ 何でも売れるという感覚がある ・ 県産の価格の設定はどうしているのか ・ 国産の野菜であれば安い物 ・ 中国産は買わない (いくら安くても) ・ 安心なものを子供に食べさせたい ・ 地産地消は子供のために必要 ・ 形がよくない物は買いにくい ・ 形にはこだわらず地元産を買う ・ 市場に出ない物を売る ・ 直売所が面白くない ・ 無人販売所の加工物(漬物など)は心配 ・ 完熟したものが欲しいのに販売しているのはスーパーと同じ ・ 企業・団体で農業の推進(農地を借りてもらう) ・ 心の病を持った方に農業に携わってもらおう ・ 昔からの調理の仕方を伝達したい(先祖代々の食のレシピ)
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食に関心を持ってほしい レシピが置いてあればもっと買う ・ スーパーで買う場合、富山産を選ぶ(スーパーの方が衛生面で安心) ・ 休耕田の利用の仕方 休耕田の貸し出し ・ 富山でどういったものを作っているのかわからない ・ 国内産が安ければ、富山産は選ばない 自給自足が富山は多い
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山でどういったものを作っているのかわからない ・ レシピが置いてあればもっと買う(知らない野菜は作り方が分らない) ・ 国内産が安ければ、富山産にはこだわらない ・ スーパーの方が衛生面で安心 ・ 自給自足が富山は多いのであえて地場もん屋で買う必要がない ・ 食に関心を持ってほしい

Dグループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<p>(売り方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の物と他県の物があればおいしい方を選ぶ ・ 地元の物と他県の物があれば安い方を選ぶ ・ 地場もん屋ではなくても直売所(ロードサイド等)がある ・ 車で販売をしてくれる <p>(品目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おいしさを考えると地場もん屋の方がいいが品数がネック <p>(安心安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国産は× 福島産は？ ・ 値段、安心、安全は大事 ・ 安心、安全の生産物責任の問題 <p>(後継者・指導者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化(後継ぎがない) ・ 指導者が少ない ・ 企業化する 		
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農組合等のシステム化が必要 ・ 企業化する(会社として運営すればどうか・富山市の経営も) ・ 指導者が少ない(農業科がある大学が富山にない) ・ 高齢化が進む ・ 担い手不足(この先、誰が続けるのか?地産地消がどうなるか不安) ・ 県外からの後継者の募集(特典付きで) 		
<p>まとめ</p>	<p>高齢化(担い手不足)を解消するには</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1. 人手の確保(他県含む)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>指導者の確保</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>農業系大学があれば</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>2. 地場もん屋の市民への普及</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>持込みしている生産者の方にメリット</p> <p style="text-align: center;">↓ (税金など)</p> <p>生産者は喜んでもっとたくさん作る</p> <p style="text-align: center;">↓ (安価になる)</p> <p>消費者も喜ぶ かつ 安心・安全</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">地産地消が実現すれば…</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の活性化 2. 食料自給率のアップ 3. 安心・安全の確保 	<p>1. 人手の確保(他県含む)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>指導者の確保</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>農業系大学があれば</p>	<p>2. 地場もん屋の市民への普及</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>持込みしている生産者の方にメリット</p> <p style="text-align: center;">↓ (税金など)</p> <p>生産者は喜んでもっとたくさん作る</p> <p style="text-align: center;">↓ (安価になる)</p> <p>消費者も喜ぶ かつ 安心・安全</p>
<p>1. 人手の確保(他県含む)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>指導者の確保</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>農業系大学があれば</p>	<p>2. 地場もん屋の市民への普及</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>持込みしている生産者の方にメリット</p> <p style="text-align: center;">↓ (税金など)</p> <p>生産者は喜んでもっとたくさん作る</p> <p style="text-align: center;">↓ (安価になる)</p> <p>消費者も喜ぶ かつ 安心・安全</p>		

E グループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くに店がない ・ 富山市になってから八百屋がなくなっている(八尾町在住) ・ 八百屋がなくなり不便(富山市が八百屋に援助してくれればよかった) ・ 地場もん屋が遠い ・ 体にいい物でも地場もん屋から重い荷物を持って帰るのが大変 ・ 新鮮なものが近くで手に入るシステムにしてほしい ・ 農薬を使用していない物がほしい ・ くず野菜でもいいので安く手に入るようにしてほしい ・ 形が悪くても美味なものを売ってほしい ・ 畑はあるが仕事の為、他の人に任せている ・ 株式会社に任せてはどうか
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の近くにお店がない(地場もん屋) 地場もん屋から重い荷物を持って帰るのは大変 ↓ 家の近くに八百屋(地場もん屋)があれば良い コンビニで販売してはどうか ・ 作り手の情報不足 耕作地を作ってくれる「担い手」の情報が農協にはない ↓ 農家は農協に何でも相談をする 農協に「担い手」の情報はない
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者は地場もん屋に行っても荷物が重くて持ち帰れない <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の八百屋の復活 → 富山市が運営 ・ コンビニに地産の野菜を置く → 置かないと認可しない ● 耕作地を作ってくれる「担い手」の情報を各種団体に流してほしい <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家は農協に相談するが農協は対応して頂けない現状がある

	<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">耕作放棄地の活用</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">指導管理を行ってもらい地産につなげる</p>	
5 位	<ul style="list-style-type: none"> ・富山でどういったものを作っているのかわからない ・レシピが置いてあればもっと買う(知らない野菜は作り方が分らない) ・国内産が安ければ、富山産にはこだわらない ・スーパーの方が衛生面で安心 ・自給自足が富山は多いのであえて地場もん屋で買う必要がない ・食に関心を持ってほしい 	20 票

討議テーマ 2 : 「とやまのプロスポーツを通じた地域（まち）の活性化について」

6月29日（土）開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ とりあえず一度、観戦に行く ・ 強くないと地域に密着しない ・ 地域に密着していないような感じがある ・ 地域の活動にもっと参加すれば注目される ・ 富山は呉東・呉西に別れず富山県一つになって応援する ・ 大人は子供と一緒にいく(大人は料金が高くても良い)
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生の無料化 ・ 大人(父母・祖父母)は子供と一緒にいく ・ 小中学校のバスケ部・サッカー部・野球部を無料招待する ・ 富山のチームになっていない(新潟はすべてが一つのチーム) ・ 富山県民のチームではなく企業の宣伝チームになっている ・ 3チームの共通パスをつくれればどうか ・ 3チーム合同のイベントを多く実施しては
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 集客することが前提 <ul style="list-style-type: none"> ・ そのために小中学生を無料化 ・ 小中学校のバスケ部・サッカー部・野球部の子供たちを招待する ● 富山県民のチームではなく企業の宣伝チームのイメージが強い <ul style="list-style-type: none"> ・ おらがチームにしてほしい ● 富山としての3チーム共通点を作ってほしい <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通パス・合同イベントなど

Bグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試合を観戦したことがない ・料金が安ければいく ・活動していても少人数でわかりづらい ・PR不足 ・試合を観戦したことがあるが継続して行かない ・知っている選手がいない ・サポーターが静かすぎる ・駐車場に限りがある
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・行きやすい場所に ・駐車場に限りがある ・球場が毎回違う ・ホームグラウンドがない ・車で行く→お酒を飲めない ●ソフト面の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・勝たない ・地元スターが出場していれば ・知っている選手がいない ・PRが足りない
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームグラウンドを3球団統一 ●ソフト面 <ul style="list-style-type: none"> ・スター選手を入団させる

Cグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観戦したことがない 魅力がない ・有名人がいない、知らない ・マスコミの扱いが少ない ・いつ、どこでやるのかお知らせがほしい(P R 不足) ・アクセスの問題 ・ホームタウン活動を見たことはあるが活動状況が分らない ・貧しい国へ使わなくなったボールなどを送る ・子供に無料券の配布(親も観戦する) ・学校から訪問する(試合を観戦させる) ・割引券などをもっと配布する(他県はもっと活発) ・入れ墨がよくない 文化の違いはあるが子供に悪い影響
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アスリートファームを作る <ul style="list-style-type: none"> ・空いた土地で農業に携わり地元の人たちと交流し仲間を増やす ・子供たちにも広めることで町作りとなる ●成績の状況を市民にもっと伝える、知ってもらおう(ニュース・広告) ●週末にイベントを実施する(ミニゲーム等)
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山スポーツチームの方々で空いた土地を利用し野菜を作り包装の際、チーム名を入れたり割引券を入れたりしてチームを知ってもらよう販売する(サポーターも協力する) ・グラウンドプラザ等を利用しイベント(例えばミニゲーム)を開催する ・成績状況をP Rし、市民にとけこむ方法を取ってもらいたい ・富山のブランドを広める活動をしていた事を市民が認識していないのではないか

Dグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持てない ・流出を防ぐ(育てても他県に行く・スター選手が必要) ・雨が降ると行く気になれない ・ドームの建設
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●強くなれ <ul style="list-style-type: none"> ・目標が低い ・スター選手が必要 ・教育者が必要 ・下部組織の充実が大事 ●客を増やせ <ul style="list-style-type: none"> ・ファンクラブの人数が少なすぎる ・弱い=会員数が少ない ・子供が行きたい試合を ・スポンサーの支援の強化 ●問題点 <ul style="list-style-type: none"> ・チーム名が理解されていない(特に女性は知らない人が多い) <li style="text-align: center;">↓ ・プロ3チームを一本化する(新潟アルビレックスのように)
<p>まとめ</p>	<p>強くなれば、客は増える</p>

E グループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに興味がない ・ スター選手を呼ぶ ・ 地元選手を入れる ・ イベントを実施する ・ テレビCMに出す ・ 中継していない ・ いつ試合があるかわからない ・ アピール不足 ・ チームをより身近に感じさせる ・ 家族無料招待券 ・ 無料券の配布 ・ ドリンクサービス
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観戦者が増えれば街が盛り上がるのでは？ <li style="text-align: center;">↓ ・ 応援に行きたくするにはどうすればよいか <li style="text-align: center;">↓ ・ チームが強くなる ・ スター選手を呼ぶ ・ 地元選手を入れる ・ スポーツに興味がなくとも応援するファンを見に行く <li style="text-align: center;">↓ ・ 盛り上がり、地元が活性化するのではないか
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツに興味がある方 <ul style="list-style-type: none"> ・ チームの強化・ スター選手、地元選手の入団 ● スポーツに興味がない方 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの強化＝試合に行く楽しみ ・ 町内単位・ 家族単位での招待＝みんなで行く楽しみを作る

【投票結果】

討議テーマ 2：「とやまのプロスポーツを通じた地域（まち）の活性化について」

6月29日（土）

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	強くなれば、客は増える	31票
2位	<ul style="list-style-type: none"> ●集客することが前提 <ul style="list-style-type: none"> ・そのために小中学生を無料化 ・小中学校のバスケット部、サッカー部、野球部の子供たちを招待する ●富山県民のチームではなく企業の宣伝チームのイメージが強い <ul style="list-style-type: none"> ・おらがチームにしてほしい ●富山としての3チーム共通点を作ってほしい <ul style="list-style-type: none"> ・共通パス・合同イベントなど 	26票
3位	<ul style="list-style-type: none"> ●ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームグラウンドを3球団統一 ●ソフト面 <ul style="list-style-type: none"> ・スター選手を入団させる 	23票
4位	<ul style="list-style-type: none"> ・富山スポーツチームの方々に空いた土地を利用し野菜を作り包装の際、チーム名を入れたり割引券を入れたりしてチームを知ってもらおうよう販売する（サポーターも協力する） ・グラウンドプラザ等を利用しイベント（例えばミニゲーム）を開催する ・成績状況をPRし、市民にとけこむ方法を取ってほしい ・富山のブランドを広める活動をしていた事を市民が認識していないのではないか 	21票
5位	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツに興味がある方 <ul style="list-style-type: none"> ・チームの強化・スター選手、地元選手の入団 ●スポーツに興味がない方 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの強化＝試合に行く楽しみ ・町内単位・家族単位での招待＝みんなで行く楽しみを作る 	20票

討議テーマ 1：「地産地消について」

6月30日（日） 開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議中に 出された意見	<ul style="list-style-type: none">・地場もん屋の駐車場代を無料にする・若い人が農業を知らない・PRが足りない・応募シール・おまけをつける・富山の野菜がおいしいか知らない
意見抽出	<ul style="list-style-type: none">●時間帯の問題(地場もん屋)<ul style="list-style-type: none">・営業開始時間が遅い。AM9:00をAM7:30に・朝市をやってみてはどうだろうか●PR不足を補うため<ul style="list-style-type: none">・CMを放送局に任せる・地産ブランドをもっとPR(例：大山町の○○○)・農業・野菜づくりを魅力あるものに・子供への野菜づくりの指導●若い人への普及<ul style="list-style-type: none">・年齢の引き継ぎが下手・若い人に野菜づくりを伝える・ブランド化し若い人へのやる気を出させる
まとめ	<ul style="list-style-type: none">●地場もん屋の営業開始時間を早くする<ul style="list-style-type: none">・朝市の実施・駐車場の無料化●地産ブランドをPRする<ul style="list-style-type: none">・テレビでのCM等・子供へ地場の野菜を教える●若い人に野菜づくりを伝える<ul style="list-style-type: none">・野菜づくりを経済的に魅力のあるものにする

Bグループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山産をPR ・ 旬な物を食べさせたい ・ 富山県産をブランド化 ・ 地場もん屋は種類が少ない ・ 日常、行けるところがあれば(コンビニ等)
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県産をブランド化しタグなどをつける ・ 若い人向けにアピールする(情報誌・テレビ等) ・ トイレットペーパーに特産品をイラストで描く ・ 貸し農地を若い世代に貸す ・ 子供の農業体験 ・ 人の集まる場所に地場もん屋を建設する ・ コンビニの野菜コーナーでの販売(一人用少量の販売) ・ JA、道の駅・地場もん屋の一本化する
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県産の美味しい物がPR不足の為、農業が活性化しない。ブランド化に向け農業を活性化させる(トイレットペーパーにイラストし特産品をアピール) ・ 休耕田を有効利用し、子供達に農業体験してもらい若い世代にアピールする ・ JA、道の駅、地場もん屋の違いが分からないので一本化する

Cグループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山のイメージ 米・魚 ・呉羽梨のように他の農産物もブランドかできれば ・地場もん屋総本店まで出てくるのが大変 ・新しい駅に地場もん屋を作ってほしい ・近くのスーパーに地場もん屋があれば便利 ・食に対する安全性、顔が見える分多少高くても買う ・観光の目玉になるような野菜を使ったメニューを生み出す ・地元野菜の食べ方が分るようになれば ・農業の企業化
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の農産物のPR ・ブランド力 ・高齢者の農業への参加 ・買い物難民を救う ・食の安全、生産者の顔が見える ・地物産の食べ方を教える ・ヘルシーな地産メニューを考案する ・B級品、端物も売ってほしい ・もっと近くに地場もん屋がほしい(地元スーパー・新富山駅)
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地産 <ul style="list-style-type: none"> ・富山の農産物のPR ・ブランド力の強化 ・高齢者の農業への参加（世代間交流） ●流通 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物難民を救う『御用聞き』 ・PR ・流通の見える化(食の安全・生産者の顔が見える) ●地消 <ul style="list-style-type: none"> ・地物産の食材の調理法を教える ・ヘルシーな地産メニューを考案する ・もっと近くに地場もん屋がほしい(地元スーパー・新富山駅)

Dグループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便利な土地は耕作されるが不便な所は耕作できない ・ 農業は「儲からない」、「高齢化」だけが問題ではない ・ 自炊しないと地場もん屋にはいかない(学生) ・ 地場の惣菜があれば ・ 学校で地場産品を販売する ・ 特産物を企業とタイアップし加工品にする
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 休耕地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕地を市に借り上げてもらい、市民に貸してほしい ・ 休耕地を大学・高校などに貸し出してはどうか ・ 14歳の挑戦に農業がない ・ 小学校で近所の農家で体験させる ● 地場もん屋 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重い物を運ぶのが大変 ・ 街中にあり車が止められない ・ セントラムとセットにしてはどうか ・ 地域店をもっと利用するにはどうするか ・ 料理教室などをもっとアピールする ・ TVCMが一番目につく ・ ネット・フェイスブックなどの利用 ・ 料理教室などをもっとアピールする
<p>まとめ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 耕作放棄地を利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 14歳の挑戦に農業を入れる ・ 学校(幼・小・中・高・大)への貸し出し ・ 土地を市に借り上げて頂き貸し出す 2. 地場もん屋を活性化させるために <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地にあるので車で行きにくく、駐車料金がある <li style="text-align: center;">↓ ・ 地域店をもっと利用する ・ 地域店の利用に際し特色を出しPRする <li style="padding-left: 40px;">例：料理教室・ネット・フェイスブック・TVCM <li style="padding-left: 40px;">特産品を使ったお惣菜作り等 <ul style="list-style-type: none"> ● 結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域店を足掛かりにして本店に行くきっかけとする

E グループ

<p>討議中に 出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場もん屋の営業時間帯 ・ 地域店と加盟店の拡大 ・ イベント等の先行告知 ・ 人口の減少への対策(農業の縮小) ・ 農業体験などのできるイベント ・ 生産地を見る事で高くても安心して野菜を購入できる
<p>意見抽出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場もん屋の位置に疑問 ・ 中心市街地にはなかなか行けない ・ 郊外から行きにくい ・ 特産品の野菜がない ・ 地場もん屋の認知度が低い ・ コンビニ等の連携 ・ 農業体験イベントを積極的に行う (地場もん屋と農業体験を合わせる)
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知度の向上 ・ コンビニ・スーパーと地場もん屋の連携 ・ 農業体験イベントの拡大(後継者不足対策) ・ 「米」、「梨」への特化(ブランド強化)

【投票結果】

討議テーマ 1：「地産地消について」 6月30日（日）

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	<ul style="list-style-type: none"> ●地産 <ul style="list-style-type: none"> ・富山の農産物のPR ・ブランド力の強化 ・高齢者の農業への参加（世代間交流） ●流通 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物難民を救う『御用聞き』 ・PR ・流通の見える化(食の安全・生産者の顔が見える) ●地消 <ul style="list-style-type: none"> ・地産物の食材の調理法を教える ・ヘルシーな地産メニューを考案する ・もっと近くに地場もん屋がほしい(地元スーパー・新富山駅) 	32票
2位	<ul style="list-style-type: none"> ●地場もん屋の営業時間を早くする <ul style="list-style-type: none"> ・朝市の実施・駐車場の無料化 ●地産ブランドをPRする <ul style="list-style-type: none"> ・テレビでのCM等・子供へ地場の野菜を教える ●若い人に野菜づくりを伝える <ul style="list-style-type: none"> ・野菜づくりを経済的に魅力のあるものにする 	27票
3位	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県産の美味しい物がPR不足の為、農業が活性化しない。ブランド化に向け農業を活性化させる(トイレトペーパーにイラストし特産品をアピール) ・休耕田を有効利用し、子供達に農業体験してもらい若い世代にアピールする ・JA、道の駅、地場もん屋の違いが分からないので一本化する 	25票
3位	<ol style="list-style-type: none"> 1. 耕作放棄地を利用 <ul style="list-style-type: none"> ・14歳の挑戦に農業を入れる ・学校(幼・小・中・高・大)への貸し出し ・土地を市に借り上げて頂き貸し出す 2. 地場もん屋を活性化させるために <ul style="list-style-type: none"> ・街中にあるので車で行きやすく、駐車料金がある <p style="text-align: center;">↓</p>	25票

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域店をもっと利用する ・地域店の利用に際し特色を出しPRする 例：料理教室・ネット・フェイスブック・TVCM 特産品を使ったお惣菜作り等 ●結果 <ul style="list-style-type: none"> ・地域店を足掛かりにして本店に行くきっかけとする 	
5位	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度の向上 ・コンビニ、スーパーと地場もん屋の連携 ・農業体験イベントの拡大(後継者不足対策) ・「米」、「梨」への特化(ブランド強化) 	13票

討議テーマ 2：「とやまのプロスポーツを通じた地域（まち）の活性化について」

6月30日（日） 開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場者数を増やすにはどうすればよいか ・ 野外观戦用にサンバイザーを配る(女性向けに) ・ アピールポイントが分りづらい ・ 女性のサポーターが少ない ・ プロスポーツの結果を街中に流す ・ 一度来てもらうために招待券を配る
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料招待券を配る ・ 試合をライブ放送や結果を電光掲示板等で伝える (試合の臨場感を伝える) ・ 観戦以外の楽しみを作る(野外でバーベキューなど) ・ 勝った試合の入場券を見せて割引を行う ・ 女性専用席を作る ・ チームを強くする方法を公募しプロジェクトチームを作る ・ 富山のチームが勝つとショッピングセンターや商店街などで割引が受けられるようにする
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 会場にまず一度足を運んでもらう <ul style="list-style-type: none"> ・ 無料券を配る ・ 20代の女性に来てもらうため、女性専用席を設け(日焼け防止ができる場所)、送迎をする (ショッピングセンター・市中心部に集合し会場まで移動する) (選手も共に移動し勝利の喜びを感じる) ● 勝つことのメリットをつける <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街で割引を実施する(ショッピングセンター・商店街) ・ クーポン券を発行する

Bグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場料金が適正なのか ・ 富山県はスポーツよりも勉強が中心 ・ 小中学生の授業に取り入れる ・ 若年層にもっとPR ・ 富山にプロスポーツは根付かないのでは ・ 身近な存在になってほしい ・ 強くならなければ見に行く気にならない ・ ネーミングが分りづらい
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● PR不足で活動が見えてこない <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームタウン活動が多いが活動が見えない ・ ホームタウン活動が見えないし見たことがない ・ 子供へのPR活動 ・ 一般市民に生涯スポーツ振興を計る ● 活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備にお金をかける ・ 使用しないときは市民へ開放する ● サッカーを見るだけではつまらない <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設周辺の設備が少ない(レジャーランドなど) ・ 終日遊べる施設を ● PRの仕方が下手 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県民をもっとチームに入れる ・ 市民スポーツとしてPR ・ チームが勝つと富山県民の歌を流す (県民のチームにしないと盛り上がり欠ける)
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般市民に生涯スポーツ振興を計りスポーツ人口を増やす ・ 球場周辺の施設の充実が必要…レジャーランド化 ・ 市民スポーツとしてPR ・ 県出身のスター選手を入れ、チームが勝つと富山県民の歌を流す

Cグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力UP ・小中学生の育成 ・子供・孫が行きたくなるようにする(若いファンを増やす) ・パブリックビューをイベント化 ・球場へのアクセス向上 ・地域貢献活動のPRをもっと行えばどうか ・見に行く暇がない
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の楽しさを教える ・ルールが分からない ・試合をやっているのか、やってないのか分からない ・地域とのつながり ・サポーター企業を生かす(店頭などでもっとチーム紹介) ・富山市だけでなく他の市町村を巻き込む ・「今日は〇〇(チーム名)の日」みたいに休日を作る ・「町の日」を作って割引する ・街中から無料バスを出す(ビアガーデンバスなど) ・帰りに飲めるくらいの会場アクセスが良い ・試合と何か別のイベントを組み合わせる
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●知識不足 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、出場選手を教えてほしい ・サポーター企業に店頭でアピールしてもらおう (市電、バスをラッピングする・試合情報を車内に放送する) ●行く時間がない <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇(チーム名)の日」を作って休みにしてしまう ・「〇〇市の日」を作って割引く ●地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・飲む食べる所が会場の近くに欲しい ・ビアガーデンバスで送迎をしてほしい

Dグループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの観戦は無料にする ・テレビ中継をする ・富山だけのTOTO ・小中高の文化祭に選手がプレーを見せる ・球場周辺のアクセス
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3球団同時にできるスタジアムの建設 ・駅前にスタジアムを作る(新幹線も開通するので) ・駐車場の確保(スタジアム近くの住民たちに駐車させてもらう) ・中高の大会に選手たちのプレーを見せる ・小中高の文化祭に選手がプレーを見せる ・人通りの多い所でプレーを見せる(ストラックアウトなど) ・イケメン選手をCM等に出す ・スター選手を育てる ・チーム紹介をゴールデンタイムに流す
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●行政側からの働きかけ・スポーツ観戦人口を多くする <ul style="list-style-type: none"> ・行政の力を借りて総合スタジアムを建設する (交通アクセスの良い所に) ・郊外に建設の場合はショッピングモールの近くに建設する ・雨が降った場合、他のスポーツが観戦できるシステムを作る ・富山版スポーツTOTOを作る ●チームの内側からの呼びかけ(選手・チーム経営者に地域住民の理解を得るように働きかける) <ul style="list-style-type: none"> ・実際のプレーを見せる機会を増やす (人通りの多い所でストラックアウト・ミニゲームなどを開催) ・小中高生の大会に選手が出演する ●市民への知名度UP(選手等) <ul style="list-style-type: none"> ・スター選手の育成(試合をゴールデンタイムに流す) ・イケメン選手をCMなどに出す ・富山スポーツチームの人気投票(イケメンコンテストなどの実施)

E グループ

<p>討議中に出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・強くなる ・知名度の向上(選手のTV出演など) ・毎日5分間番組を作る(もっとラジオなども使ってみては) ・10代のファンクラブ会員が少ない ・子供を無料にする ・地場もん屋との連携(地産地消のイベントに参加する) ・「富山」の名を大々的に活用する
<p>抽出意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●PR不足(認知度が低い) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウン活動が細かすぎる・狭すぎる(合同イベントにする) ・ローカルTV等で毎日コーナーを設けて紹介してもらう ・大きなイベントに参加しての広報活動 ●ファンを増やす為の努力が見えない <ul style="list-style-type: none"> ・若いファンを増やす ・小中学校のスポーツ教室での指導 ・選手が「笑い」の勉強をする
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きいイベントへの参加(花火大会・富山まつり・風の盆) ・ローカルTVにてコーナーを設ける ・若いファンを増やす為「お笑い」のセンスを磨く

【投票結果】

討議テーマ 2：「とやまのプロスポーツを通じた地域（まち）の活性化について」

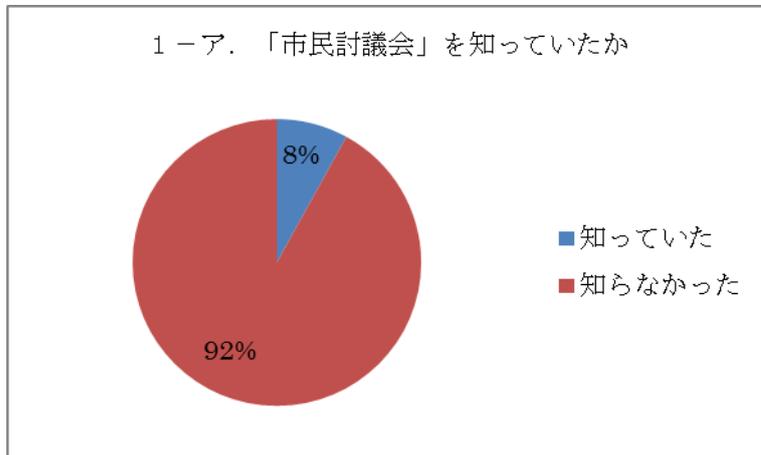
6月30日（日）

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	<ul style="list-style-type: none"> ●会場にまず一度足を運んでもらう <ul style="list-style-type: none"> ・無料券を配る ・20代の女性に来てもらうため、女性専用席を設け（日焼け防止ができる場所）、送迎をする (ショッピングセンター・市中心部に集合し会場まで移動) (選手も共に移動し勝利の喜びを感じる) ●勝つことのメリットをつける <ul style="list-style-type: none"> ・商店街で割引を実施する(ショッピングセンター・商店街) ・クーポン券を発行する 	31票
1位	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民に生涯スポーツ振興を計りスポーツ人口を増やす ・球場周辺の施設の充実が必要…レジャーランド化 ・市民スポーツとしてPR ・県出身のスター選手を入れ、チームが勝つと富山県民の歌を流す 	31票
3位	<ul style="list-style-type: none"> ●行政側からの働きかけ・スポーツ観戦人口を多くする <ul style="list-style-type: none"> ・行政の力を借りて総合スタジアムを建設する (交通アクセスの良い所に) ・郊外に建設の場合はショッピングモールの近くに建設する ・雨が降った場合、他のスポーツが観戦できるシステムを作る ・富山版スポーツTOTOを作る ●チームの内側からの呼びかけ(選手・チーム経営者に地域住民の理解を得るように働きかける) <ul style="list-style-type: none"> ・実際のプレーを見せる機会を増やす (人通りの多い所でストラックアウト・ミニゲームなどを開催) ・小中高生の大会に選手が出演する ●市民への知名度UP(選手等) <ul style="list-style-type: none"> ・スター選手の育成(試合をゴールデンタイムに流す) ・イケメン選手をCMなどに出す ・富山スポーツチームの人気投票(イケメンコンテスト等の実施) 	22票
4位	<ul style="list-style-type: none"> ●知識不足 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、出場選手を教えてほしい 	18票

4 位	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター企業に店頭でアピールしてもらおう (市電、バスをラッピングする・試合情報を車内に放送する) ●行く時間がない <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇(チーム名)の日」を作って休みにしてしまう ・「〇〇市の日」を作って割引く ●地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・飲む食べる所が会場の近くに欲しい ・ビアガーデンバスで送迎をしてほしい 	
5 位	<ul style="list-style-type: none"> ・大きいイベントへの参加(花火大会・富山まつり・風の盆) ・ローカルTVにてコーナーを設ける ・若いファンを増やす為「お笑い」のセンスを磨く 	17 票

Ⅲ 参加者アンケート結果

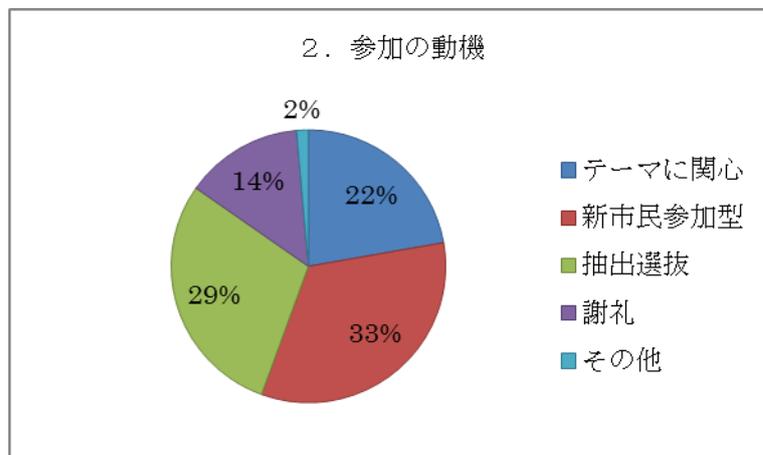
1. (ア) 案内が来た時点で、「市民討議会」をご存知でしたか？



(イ) 知っていた方は、何でご存知でしたか？

- | | |
|-------------|--------------------|
| マスコミを通して | 1 |
| 当討議会のチラシを見て | 3 |
| 行政の広報で | 4 |
| その他の理由 | 1 (以前何かで見たような気がする) |

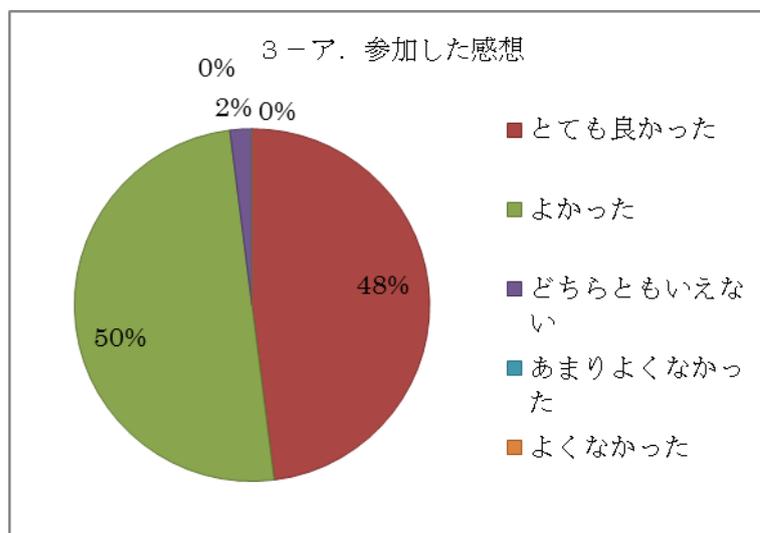
2. 参加動機についてお聞かせください。(複数回答可)



【その他の意見】

- ・富山市民として考えてみるための年齢だったから。
- ・政治事には色々関心がある。
- ・日時が都合のつく時間だったから。
- ・こういう討議会の内容がどう行政にいかされているのか知りたかったが、結局そこは分らなかった。

3. (ア) 参加された感想をお聞かせください。



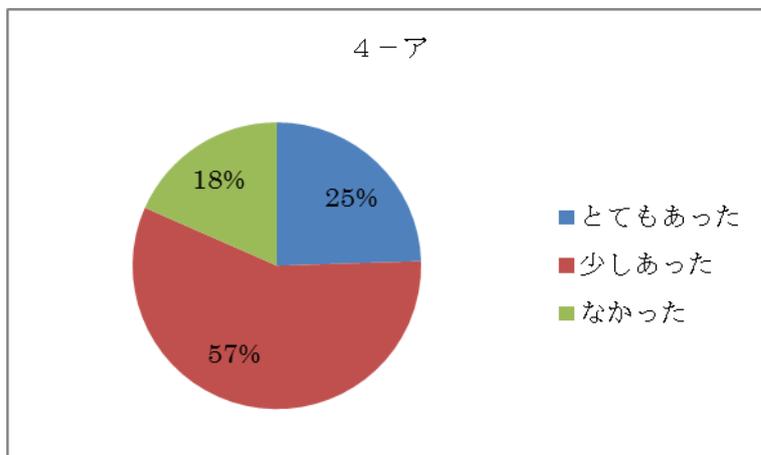
(イ) (ア) で選ばれた理由をお聞かせください。

(とても良かった 良かった)

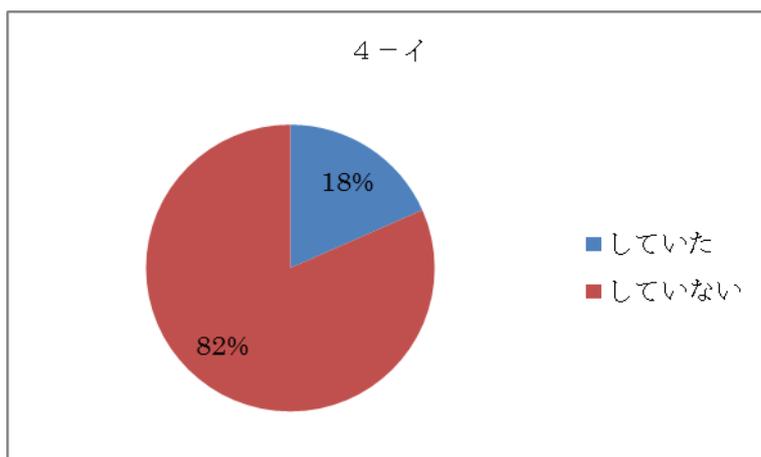
- ・アットホームな討議会で時間のたつのが早かった。また参加したいです。
- ・自分の意見をはっきりと言える。
- ・意外にも市民間でも認識度に差があると気づいてびっくりした。
- ・メンバー内での討議が楽しかった。
- ・皆、気楽に自由に意見交換ができたから。堅苦しくなくて良い。
- ・「討議会」という事で少々しりごみしてきたが楽しく話し合いができて良かった。
- ・地域の活性化について考える良い機会になったから。
- ・地産地消や富山のプロスポーツチームに対する理解が深まったので。
- ・自分たちの意見が反映されるかも知れないから。
- ・色々な年代、立場の方の意見が聞けた。
- ・知らない人たちとあまり知らなかった事の会話ができる。
- ・市民の声というか、こんな機会があまりないので聞いてみたかった。
- ・年代、男女関係なくフリートーク形式で討論出来たことが良かった。また自分の知らなかった事があつたりしたので情報を得る場ともなった。
- ・いろんな意見が聞けた。
- ・色々な人と会えたりこれからも楽しみです。
- ・富山市民でありながら知らない事もあり教えてもらった。
- ・普段では出来ない内容が多く有意義だった。
- ・知らない事が多かったのと、いろいろな意見が聞けた。
- ・討議会自体は学校でやったことがあつたが、今回のように性別、年齢、職業が無作為に選ばれる形式は初めてで、学校で行うより多角的な意見交換が出来た。

- ・他の人達の意見を聞く事が出来おもしろかった。市政を身近に感じた。
- ・いろいろな話ができた。
- ・全く知らない方の意見を聞くことができた。
- ・様々な人との沢山の話を聞いて本当に良かったと思います。
- ・色々な意見が聞けた。
- ・いろんな方の思いを聞けた。
- ・一つ二つでも参考にして実施してほしい。
- ・もっと堅苦しいものかと思ったが皆で意見交換ができ、考えの幅が広がった。
- ・こうした経験があまりないので良い勉強になりました。
- ・様々な世代の方と意見を交換できた。
- ・テーマに関する理解が深まった。
- ・前日の意見を集約したものも貼ってあったら良かった。

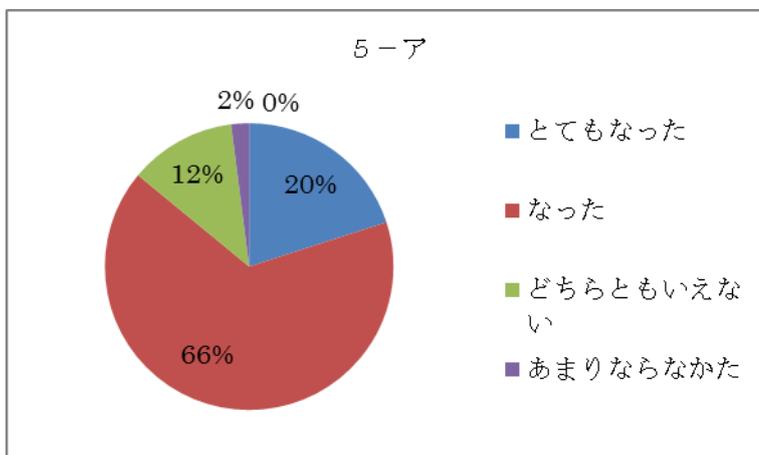
4. (ア) この討議会に参加する前、「まちづくり」に対して興味がありましたか？



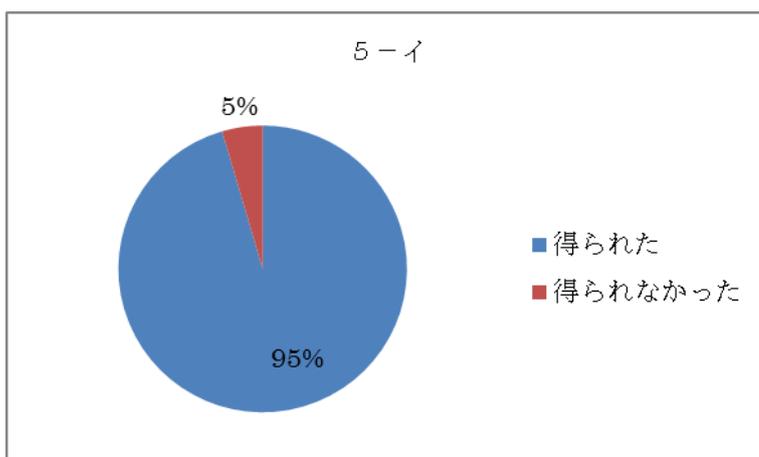
(イ) この討議会に参加する前に「まちづくり」に関わる活動をされていましたか？



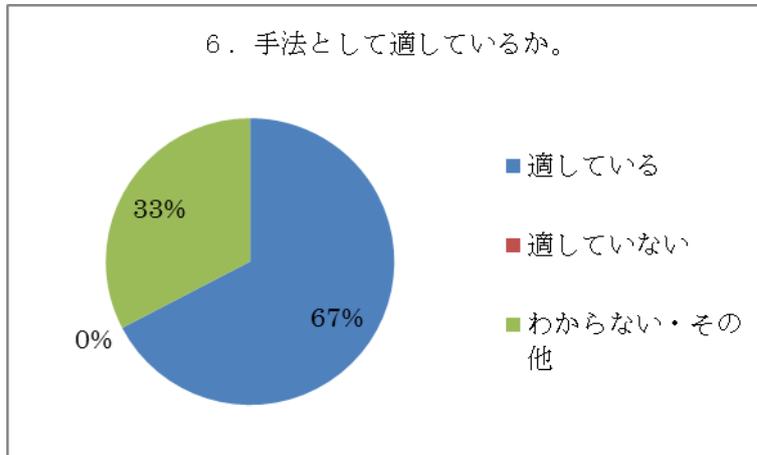
5. (ア) この討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？



(イ) この討議会に参加して「まちづくり」に参加しているという実感を得られましたか？

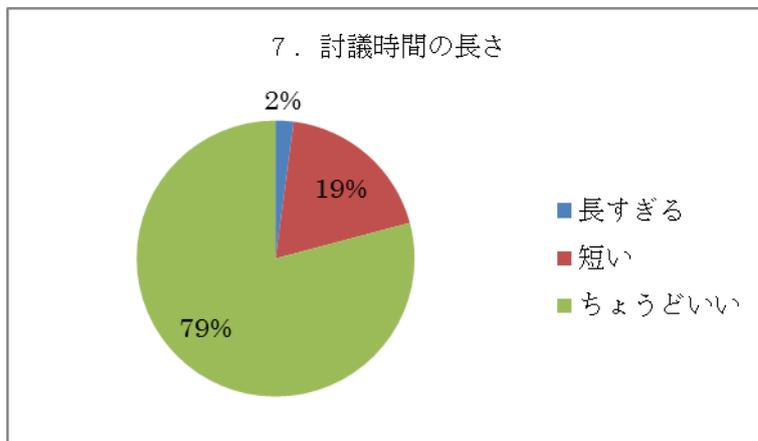


6. この討議会は市民の声を行政に伝える手法として適していると思いますか？
また意見があればお聞かせください。

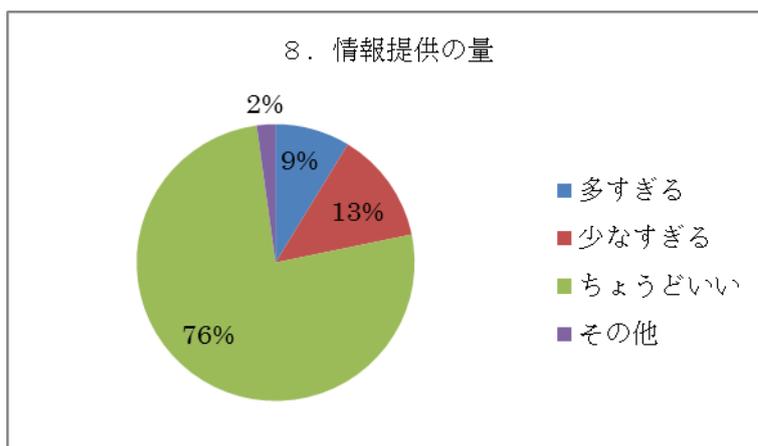


- ・ 個人での参加が難しければ会社を通じての参加要請もありでは！？
- ・ もっと多くの人に参加できるよう、機会を増やしてほしい。
- ・ 世代の壁がない討議であり、加えて討議内容が偏っていないので適していると思われる。
- ・ 少しは適していると思うが、他にも伝える方法はあるのでは？
- ・ 今回の意見が形になって見えた時に「行政に伝わった」と実感出来ると思います。
- ・ まちづくりに対して考えるきっかけにはなったが、行政からのフィードバックがなければ伝えられたかどうか分からない。
- ・ 思いもつかないような意見がでてくるのももう少し人数がいるのかな？
- ・ どなたもおっしゃっていたが本当に役立ったが何か実績を知る機会があるとよいですね。
- ・ この討議会の結果がどう伝えられ、まちづくりにどういかされているかが分からない。
- ・ 決まったことや、事例でもあれば一つでも二つでも取り上げてもらえば適している。
- ・ 行政に反映されるよう主催者側の努力を期待します。
- ・ 成果が見えないと片手落ちだと思います。言って終わりになってしまうので。
- ・ 意見を意見として終わらせる事なく反映させてほしい。それもどう反映させていったのか市民が分かるようにしてほしい。

7. 討議の時間についてお聞かせください。



8. 情報提供の量についてお聞かせください。

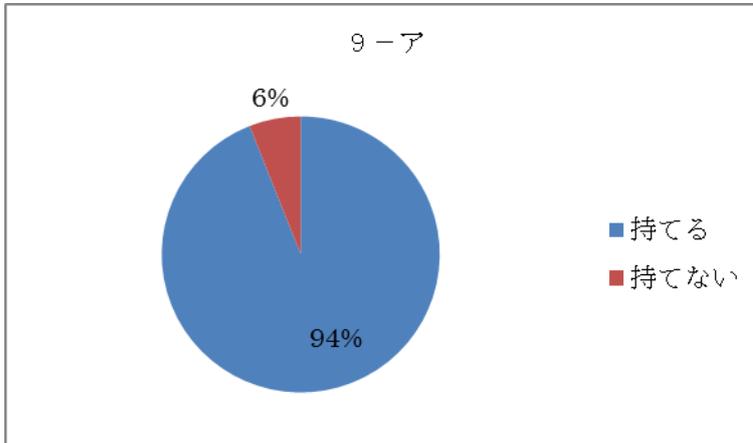


【意見】

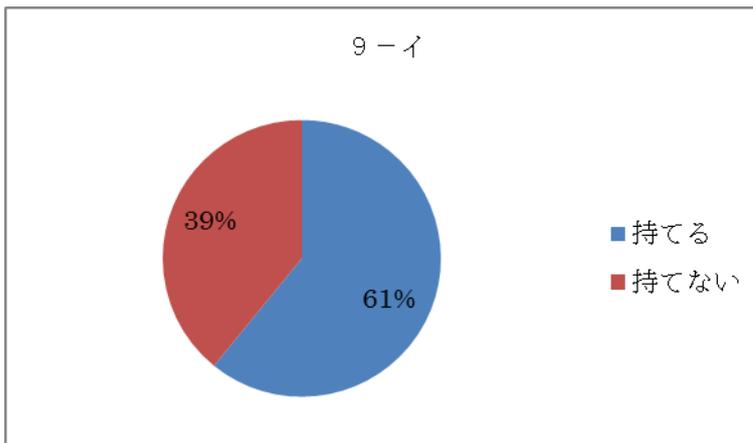
- ・ 討議2については全く興味がなかったが、討議後観戦しに行こうかな！と思いました。
- ・ 収支バランスが気になります。
- ・ 説明が長過ぎる。
- ・ もっと絞られていたほうが十分に議論できると思います。
- ・ たくさんの意見が出るので少なく感じた。
- ・ もう少し早い時期にもう少し多くの情報をいただけたらと思った（開催の3日前では遅い）

9. 討議テーマについてお聞かせください。

(ア) 討議1について「興味を持てるテーマでしたか？」



(イ) 討議2について「興味を持てるテーマでしたか？」

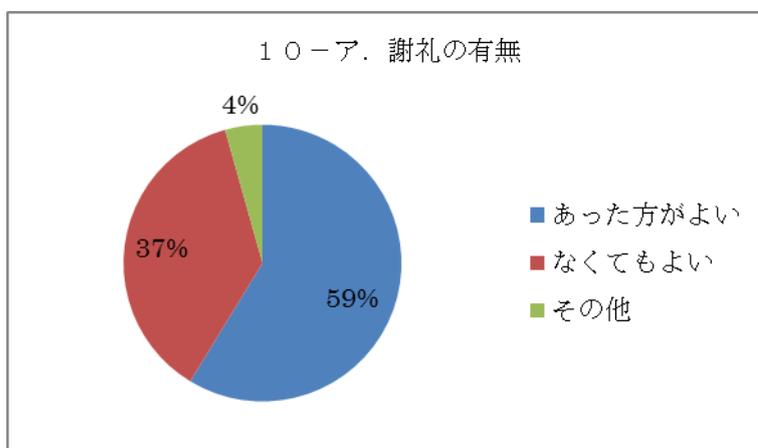


(ウ) 話し合ってみたいテーマがあれば、ご記入ください。

- ・市内のスポーツ施設の使用料を無料にもどしてほしい。※市町村合併したら有料になったから
- ・観光
- ・いじめ問題
- ・市内電車の拡大について
- ・少子化、晩婚化
- ・中心市街地活性化
- ・税金の使い方
- ・1日1テーマでもっと中身を濃いものにしたかった。
- ・富山の街の綺麗さについて

- ・医療、福祉問題
- ・富山の防災と地域
- ・市主催なのでより市に限定したテーマでも良いと思います。
今回の2テーマとも県全体としても言えることだと思いました。

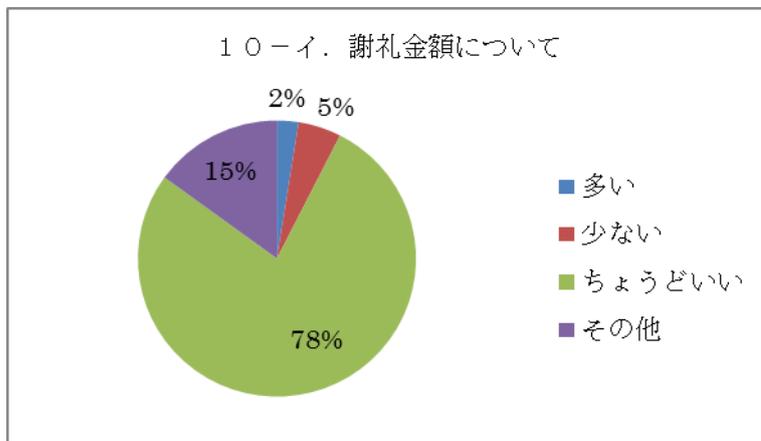
10. (ア) 謝礼についてお聞かせください。



【意見】

- ・駐車場代を出してください。
- ・いりません。
- ・こちらこそ、大切な時間ありがとうございました。

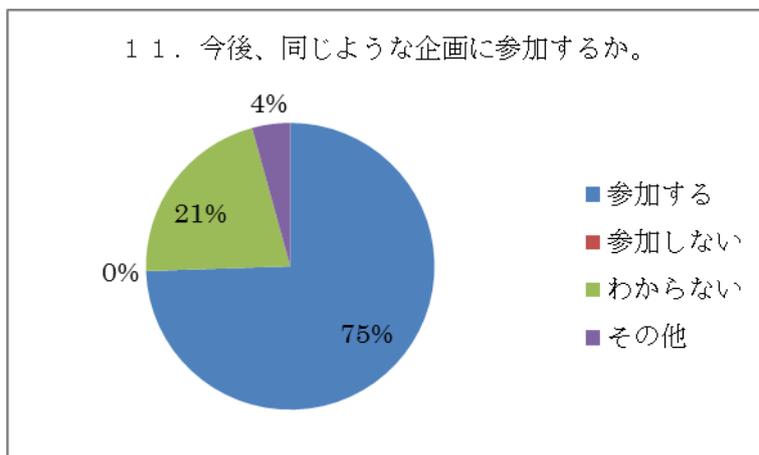
(イ) 謝礼金額についてお聞かせください。



【意見】

- ・ 討議、話し合いに謝礼はあるのかな？
- ・ 謝礼はいらないのでは・・・市民だから。
- ・ 金額はいくらでもいいと思う。
- ・ 謝礼はいらないのでは。

11. 以後、同じような企画の参加要請があった場合、参加しますか？



【その他の理由】

- ・ 思っていた以上に楽しい時間となったから。
- ・ 自分の意見を発表したい。
- ・ 富山市民として思うこと。
- ・ 都合がつけば参加したい。
- ・ 時間が合えば参加する。

12. 本日の討議会を通して感じた事やご意見等をご自由にご記入ください。

- ・テーマをもう少しピンポイントにさせていただいたほうが討議しやすいと思います。
- ・討議2は行政に伝わるのか？
- ・もっと堅苦しい時間と思いましたが楽しい討議の時間でした。有難うございました。
- ・討議の方法が参考になった。若い人が頑張ってくれた。良かったです。
- ・「富山」について考えたことは今まで一度もありませんでした。ただの一庶民という意識を持っていたので。ですから今日の時間はこれからの自分にとって有意義なものでした。ありがとうございました。
- ・一つのテーマを小グループばかりでなく全体でも話し合う機会があれば良い。
- ・参加する前は少し憂鬱でしたが、色々な人の話が聞けてとても良かったです。
- ・スポーツの話で心がはずんだことはこの機会が最初で最後かもしれませんが・・・でも、楽しい時間でした。
- ・地産地消を心がけたいと思いましたが、県内のプロスポーツチームを身近に感じることができました。観戦もしてみたいです。
- ・知らないことがたくさんあったが、富山の地産地消やスポーツに興味を持てるようになった。
- ・異世代で一つのテーマを話し合うことはとても有意義だと思いました。
- ・最初は意見が言えるか心配でしたが雰囲気がよく、稀有でした。
- ・知識がないテーマを討議することも楽しかった。
- ・スポーツテーマがまったく意見ができない人間であるとわかった。
- ・いろいろな年代の方の考え方、知識を知ることが出来良かったと思います。
- ・自分にとって良い経験となりました。また機会があれば参加してみたいです。
- ・大変色々な事で考えさせられる日でした。ありがとうございました。
- ・とても良かった。勉強になりました。富山市民バンザイ
- ・素晴らしい討議会の企画・運営ありがとうございます。1年後には提言の結果・効果の確認を発表してください。ありがとうございました。
- ・いろいろな年代の方々の意見をきいて楽しかったです。知らない事を知る事が出来てよかったです。
- ・面白かったです。機会があればまた参加したいです。
- ・いろんな世代の人と交流できてよかったです。
- ・今まで知らなかった事、わからなかった事を学べて良かった。
- ・初めて参加したがおもしろかった。時間的に短かった。
- ・全く共通点のない方と一緒に時間を過ごせるよい機会となりました。ありがとうございました。
- ・一つでも二つでも実施してほしい。
- ・前日の意見はどうであったか知りたいと思います

- ・市民討議会に初めて参加して何も知らない私でしたが参加でき、まちづくりに一役を買えたらと思い参加しました。住み良い富山に一步進めたような気がします。
- ・職種や性別、年代の異なる方と話す場所が少ないので新しい事を学べた。
- ・まずは一つでも反映されるべき。努力して欲しいです。
- ・挨拶が長いと伝わる事が少ないです。
- ・トイレットペーパーにPRプリントするのは効果的と思われます。
- ・富山の花、スポーツ球団の名前、富山の特産品等など、富山の魅力を紹介する手段に活用してほしい。

<参考資料> 1. 市民討議会 開催案内書

平成25年 5月 吉日

各 位

富山市長 森 雅志
公益社団法人 富山青年会議所
理事長 高田 健

「とやま まちづくり市民討議会 2013」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、富山市と（公社）富山青年会議所の共催により、「とやま まちづくり市民討議会 2013」を開催いたします。

この市民討議会は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議していただき、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年の討議テーマは「とやまのプロスポーツ活性化」と「地産地消」です。

皆様には、同封しましたパンフレットをご覧ください、是非ご参加くださいますようご案内いたします。

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1,000名の皆様に送付させていただいております。

（お問合せ先）

富山市役所 商業労政課

TEL 076-443-2070

公益社団法人 富山青年会議所

TEL 076-433-3334



地産地消を国語辞典で調べると・・・

《「地域生産地域消費」「地元生産地元消費」などの略》その地域で作られた農産物・水産物を、その地域で消費すること。また、その考え方や運動。輸送費用を抑え、**フードマイレージ削減**や、地域の食材・食文化への理解促進**(食育)**、**地域経済活性化**、**食料自給率のアップ**などにつながるものと期待されている。

1. 地産地消とは

地産地消とは、地域内で生産された農産物を地域で消費しようとする取組。
地域の農業者と消費者が結び付いて、地域農業や関連産業の活性化等が図られる取組。

注：ここでの地域とは、基本的に同一都道府県や市町村などの地域を想定

取組の具体例



取組の効果

◎地域の生産者と消費者の結びつき
・「顔が見える関係」で食材を消費できる
・新鮮で生産状況なども確かめられる農産物を消費できる
・消費者ニーズに対応した生産が展開

**生産
振興**

◎「食」や「農」の理解の増進
・消費者と生産者の交流が図られ、食農教育の機会としても重要
・地域の食材を活用して地域の伝統的な食文化の維持等にもつながる

食育

◎新たな地域農業の支援・展開
・高齢者や小規模農家でも活躍できる農業が展開
・消費を通じて地域の農業を支援できる
・加工、観光等地域の活性化にも貢献

**地域
活性**

◎地球温暖化の防止等
・輸送の距離が短いので地球温暖化の防止等にも貢献する取組
・流通コストが削減され、農家の手取りの確保にもつながる

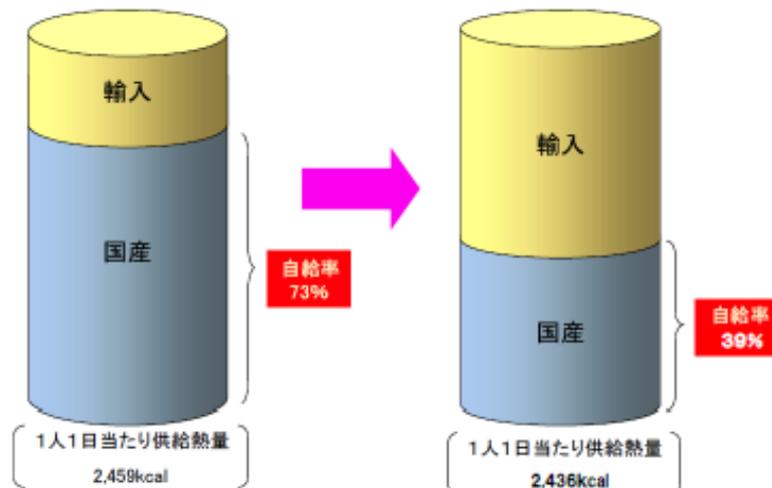
ECO

食料自給率向上へ…

食料自給率は戦後大きく低下し、現在は39%(カロリーベース)

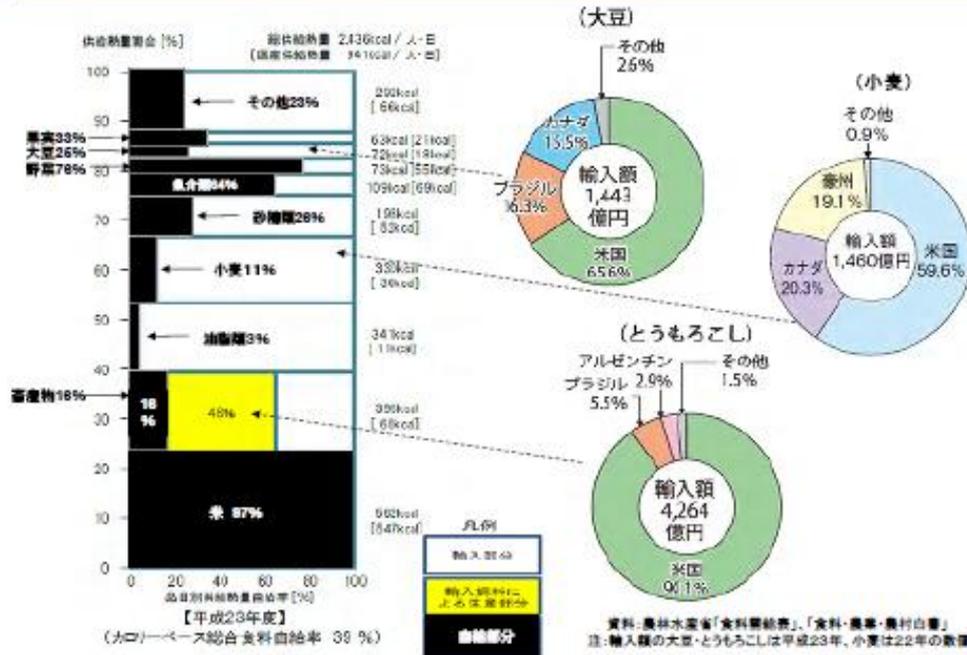
昭和40年度

平成23年度

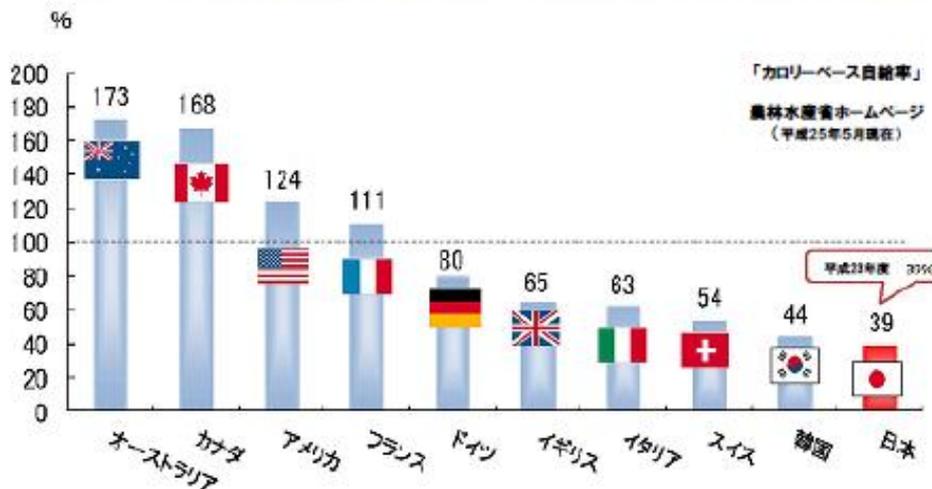


農林水産省ホームページ
(平成25年5月現在)

世界の食料需給は、我が国の食料供給に大きく影響



我が国の食料自給率は主要先進国の中で最低水準



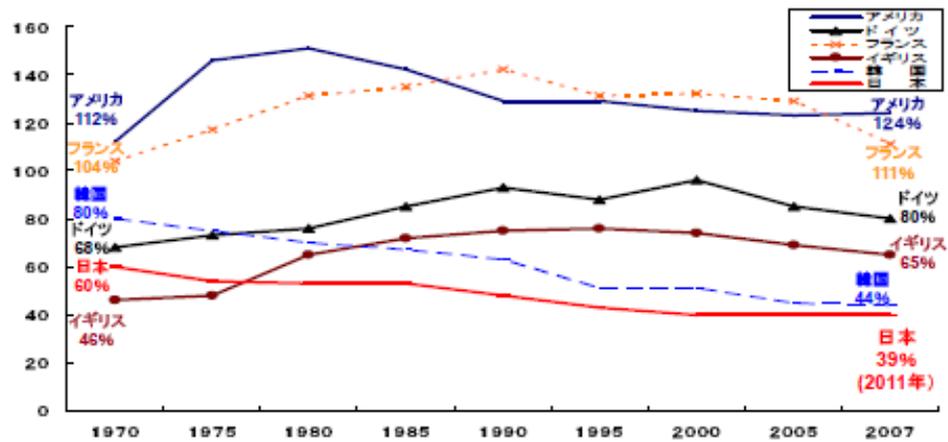
(資料) 農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算した。(アルコール類は含まない。)

ただし、スイスについてはスイス農林省「農業年次報告書」、韓国については韓国農村経済研究院「農業需給表」による。

(注) 1. 数値は、平成19年(ただし、日本は平成22年度)

2. カロリーベースの食料自給率は、総供給熱量に占める国内供給熱量の割合である。畜産物については、輸入飼料を考慮している。

参考：各国の食料自給率の推移(カロリーベース)



資料：農林水産省

イギリス（46→65）、ドイツ（68→80）など、食料自給率を向上させているが、日本と韓国はほぼ一貫して低下している。

全ての農産物を国内生産すると？

海外に
依存している
作付面積（試算）
1,233万ha
(2005-07年)

小麦	とうもろこし	大豆	菜種、 大麦等	畜産物 (飼料穀物換算)	(万ha)
226	182	155	277	393	

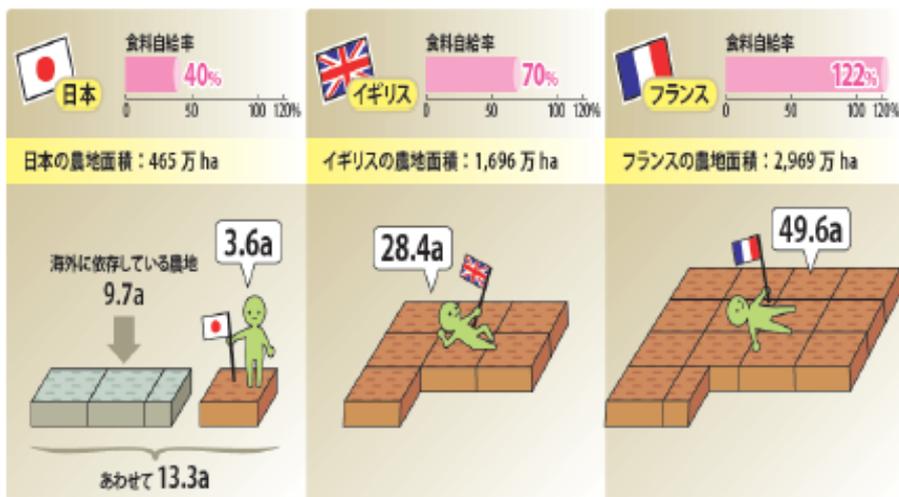
国内耕地面積
465万ha
(2007年)

田	畑
253	212

国民が消費する全ての農産物を国内生産するには、国内農地面積の約3.5倍の農地(約1,700万ha)が必要

日本の国土3778万ha 森林2512万ha

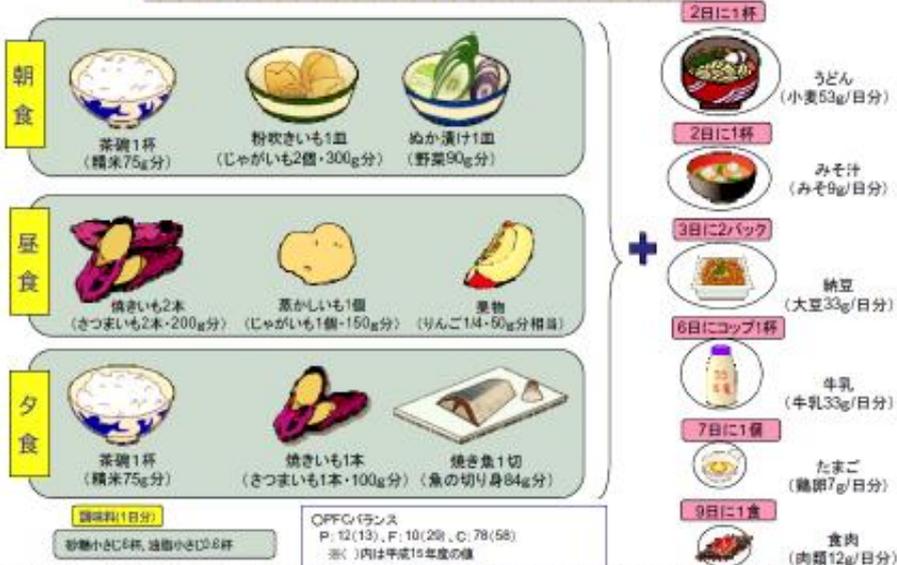
人口一人あたり農地面積



日本は、農地が少ない。今ある農地は貴重。

国内農地のみで食料を供給すると、食事は大きくかけ離れた姿に

国内農地のみで食料を供給する場合の一日の食事メニュー例



注：平成27年度における農地の見込み面積である493万haを前提に、生産効率を最大化した場合の試算(2,090ha/日)(食料・農業・農村基本計画(平成17年3月策定))

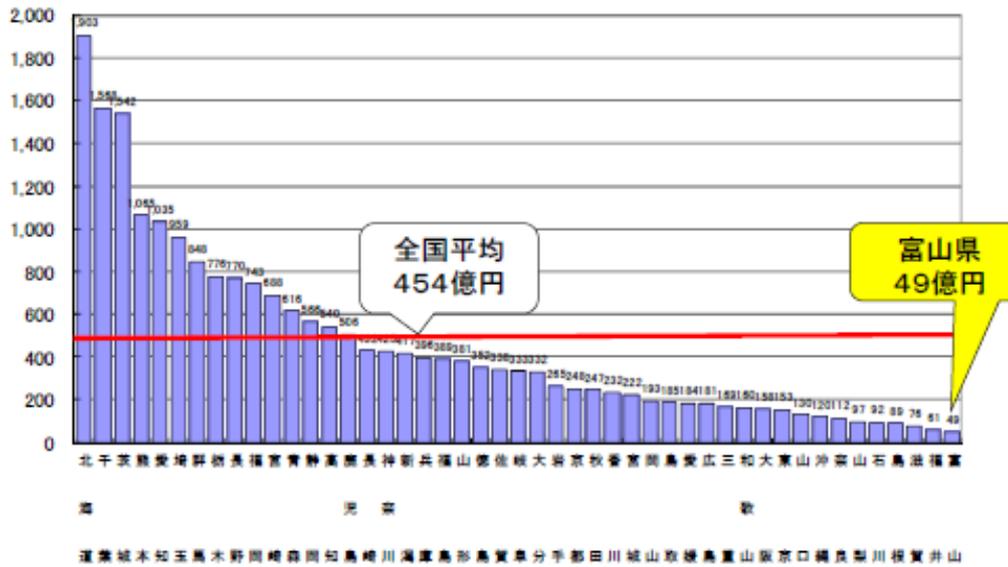


とやまの現状・・・

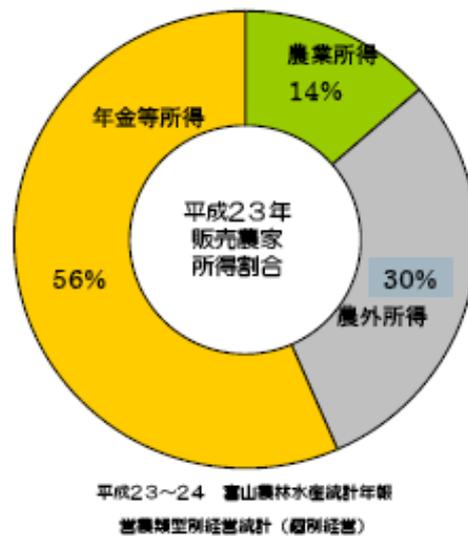
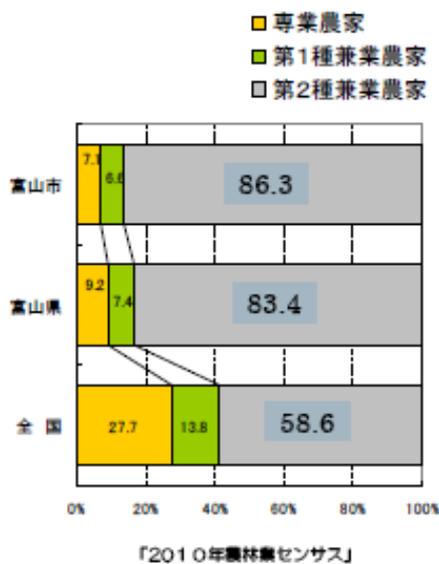
富山県の食料自給率をみよう！

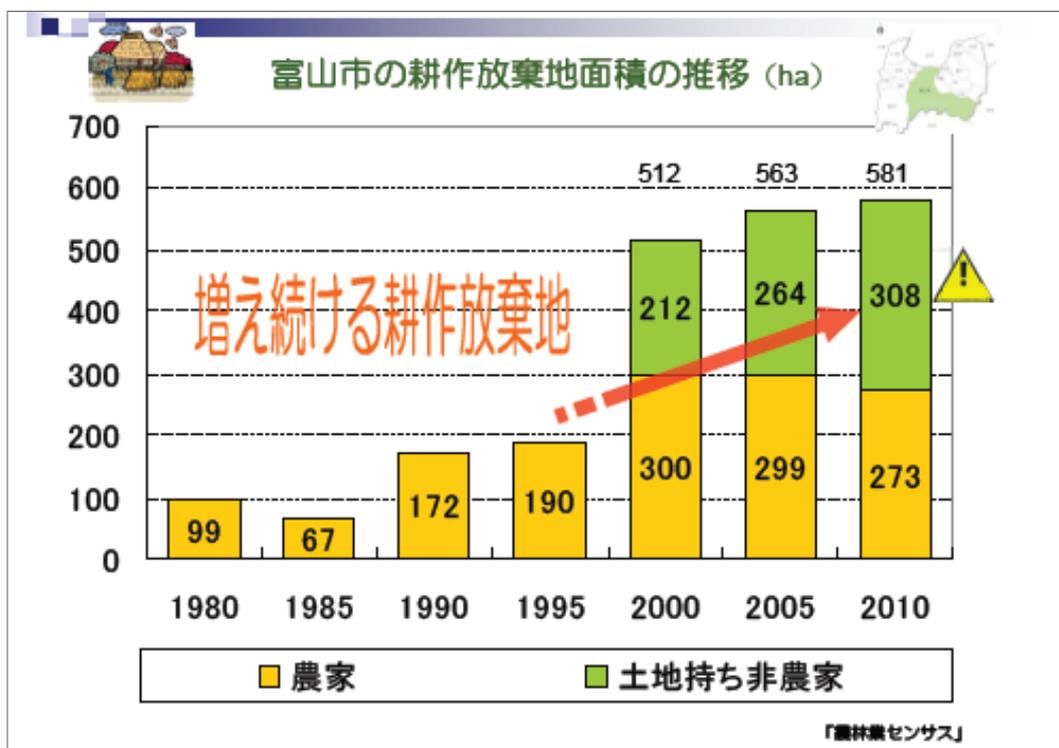
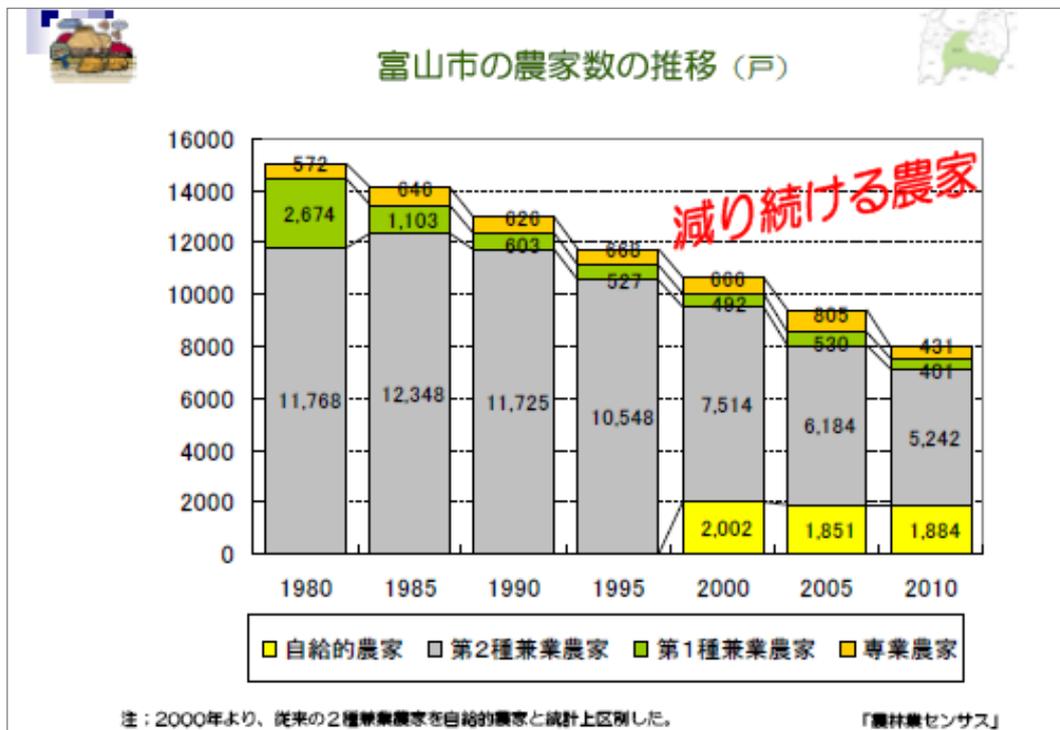
	カロリーベース		生産額ベース	
	21年度 (確定値)	22年度 (概算値)	21年度 (確定値)	22年度 (概算値)
全 国	40	39	70	69
北海道	190	173	198	198
東 京	1	1	4	4
新 潟	100	101	118	121
富 山	77	77	69	66
石 川	49	50	60	58
福 井	64	67	58	57
大 阪	2	2	5	5

平成23年都道府県別農業産出額(野菜)



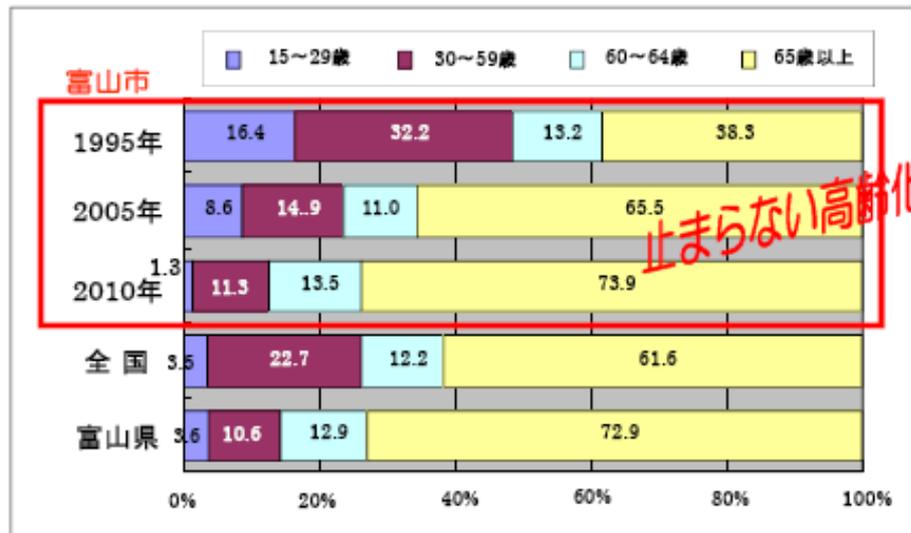
兼業率が高く 農業所得の割合が低い





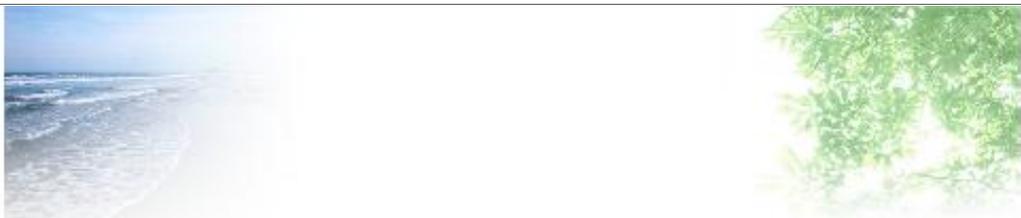


富山市の農業就業人口の年齢別割合の推移 (%)



止まらない高齢化

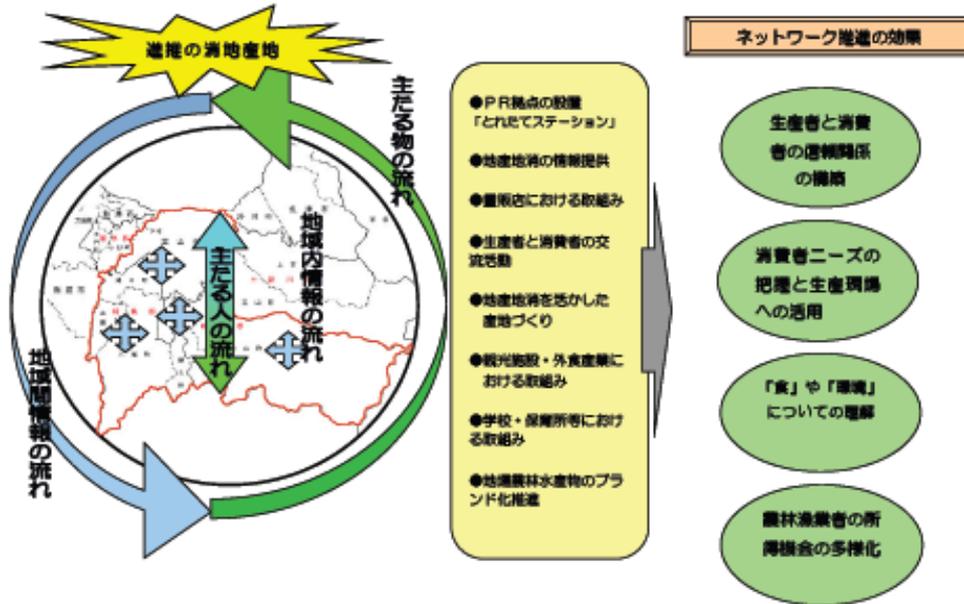
〔2010年農林業センサス〕



富山市の地産地消の取り組み



富山とれたてネットワーク事業



その役割と目指すもの

- ・旧市町村単位でバラバラの産地消費体系の一本化
- ・各地の取り組みノウハウなどの情報の共有
- ・農林水産物の他地区への物流ルートの開発
- ・共同での情報発信と宣伝
- ・中心市街地での農林水産物網羅ショップの開設
- ・周辺から市街地へ、市街地から周辺へ、物と人の流れを作る



H18に募集開始

総本店 1店舗
 地域店 7店舗
 加盟店 180店舗



地元の農林産物を扱うお店に、共通の“のぼり”

地場もん屋総本店

H22開店

- 施設整備主体 富山市
- 事業運営主体 (株)まちづくりとやま



●事業費の概要

項目	合計	一般財源	起債
用地買収	63,000,000	3,200,000	59,800,000
施設改修	85,993,500	26,293,500	59,700,000
合計	148,993,500	29,493,500	119,500,000

地場もん屋総本店



5階	フォルツァ総曲輪 (映画・公演)
4階	まちづくりとやま・富山ビューティカレッジ (専門学校 (美容師養成))
3階	富山製菓専門学校 (専門学校 (製菓衛生師養成))
2階	地場もん屋総本店・飲食店(2店)

地場もん屋総本店:
 富山市の都心部において、市内全域の地元農林水産物の情報発信と販売促進を図るための拠点として富山市が設置します。

場所: 富山市総曲輪 総曲輪ウイズビル1階
開業: 平成22年10月22日(金)オープン

営業日 通年 (年末年始を除いて無休)
 営業時間 午前9時30分～午後6時30分

地場もん屋総本店の施設

地場もん屋総本店構成

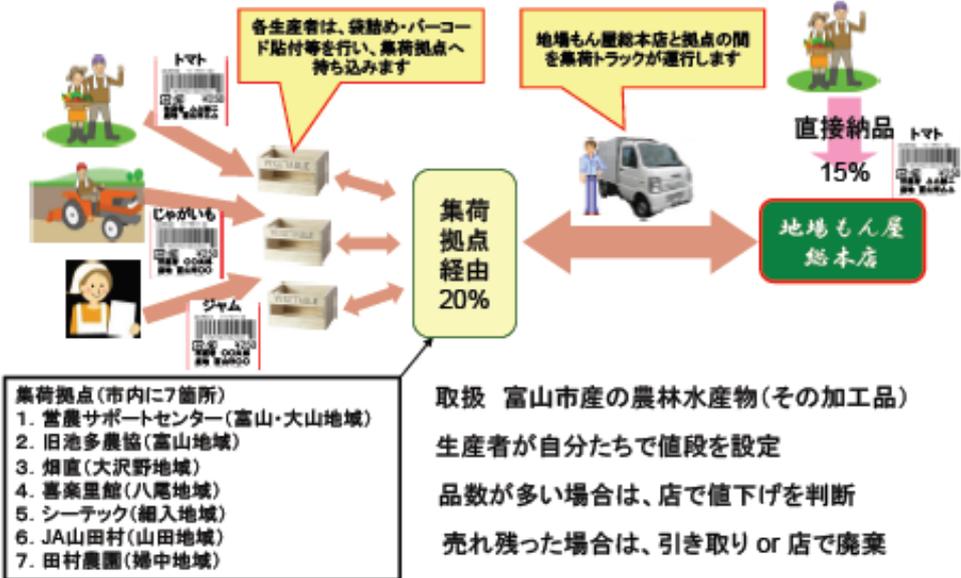
1. 地場産物販売促進ゾーン
 農産物・加工品の直売 (常温、冷蔵、冷凍)
 ・店内 約60坪
 ・店頭 朝市・催事用平台
2. 地産地消交流学習エリア
 地産地消関連の講座・料理教室などの企画実施
 ・店内 約20坪

地場産物PR・市民交流サロン

施設スタッフ

- コーディネーター 1名
- 施設運営・直売の統括
- コンシェルジュ 2名
- 対面販売・調産企画実施
- 集荷ドライバー 3名
- 拠点集荷・陳列補助
- レジ・パート 5名

地場もん屋総本店での農産物直売



- 試食で人気 アイスプラント
マコモダケ
モミジガサ

- ブランド化 恋イチゴ(化粧箱)





- 食べ比べて楽しむ 卵 漬物
- 富山の気候を活かした商品
雪下大根 寒甘野菜
- 100円均一コーナー

- 出荷生産者による各種イベントの実施
新聞、テレビ等への投げ込み
2周年感謝祭
ふるまい餅
料理教室
平成24年12月)
来客者数が50万人を突破！



- 富山市の旬の農産物を紹介

ハケ山(トマト)、奥羽(ナシ)、池多・山田(リンゴ)

- アンテナショップとしての店頭利用促進

- 旬の農産物の調理提案



平成24年3月14日(水)
地場もん屋総本店に総曲輪カフェゴッコ

OPEN

総曲輪
café
Gokko

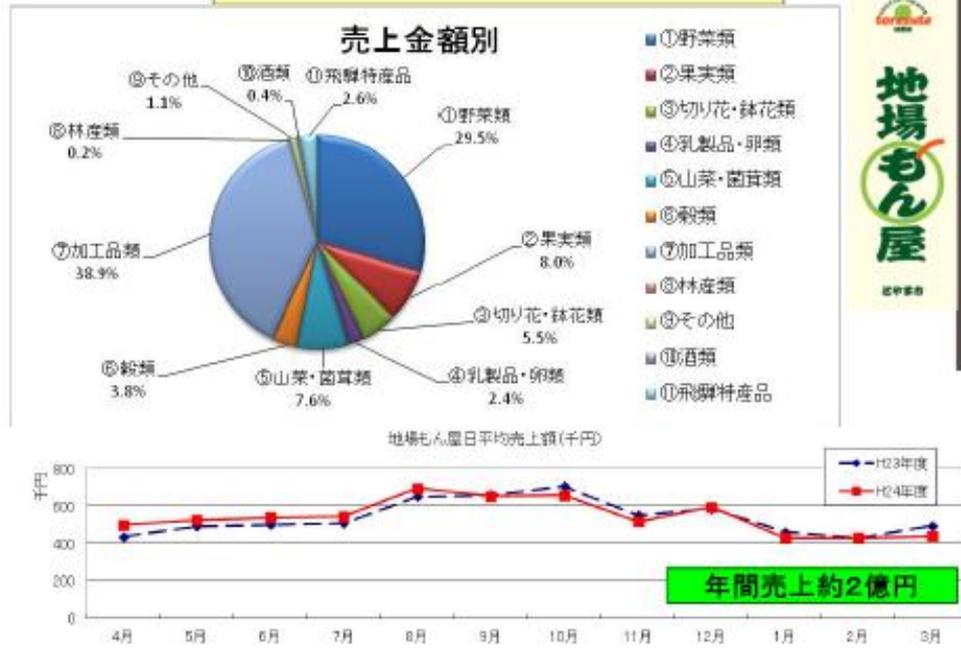
OPEN 10:00~18:00
LUNCH 11:30~14:00



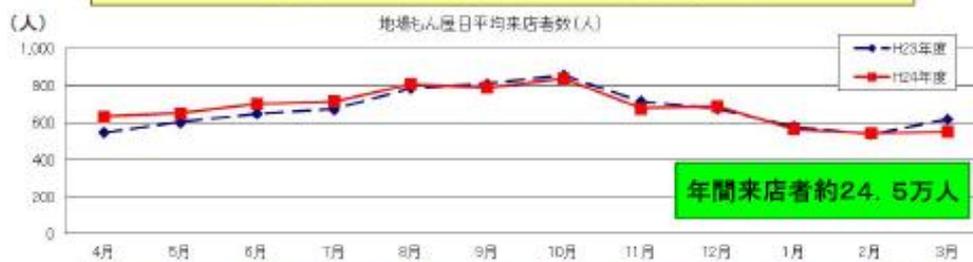
地場もん屋の食材を利用

定番のゴッコランチは、900円で、上の写真は、オープン初日のメニュー
農林水産省主催「第4回 地産地消給食等メニューコンテスト」
被災地支援部門 審査員特別賞を受賞(H24. 3月)

地場もん屋総本店の売上状況



地場もん屋総本店の来店状況



地場もん屋総本店の集荷拠点別出荷者数

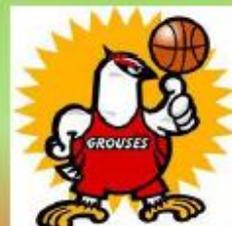




<参考資料> 3. 討議テーマⅡ ㈱カタールレ富山 ㈱富山グラウジーズ

㈱富山サンダーバーズベースボールクラブ 情報提供資料

とやまのプロスポーツを通じた 地域(まち)の活性化について



1



2

【カターレ富山】

～運営方針～

カターレ富山はサッカーを通じて、青少年の健全育成やスポーツの振興、地域の活性化などに貢献し、ふるさと富山が一層元気になることを目指します。

- **プロサッカーチームの運営**
 - 短期目標: J2中位、中期目標: J2上位
 - 身の丈経営をしながらチーム強化
- **サッカー教室の開催**
 - 子供たちのゆめづくりに貢献→将来のJリーガー養成
 - 地域スポーツの底辺拡大
- **市町村や商店街などと連携したスポーツイベントの開催**
 - ホームタウンにおける交流拡大
 - 地域の賑わい創出
- **ファンクラブの組織化**
 - サポーターの開拓
 - 集客力の向上



オフィシャルウェブサイト
<http://www.kataller.co.jp/club/index.html> より

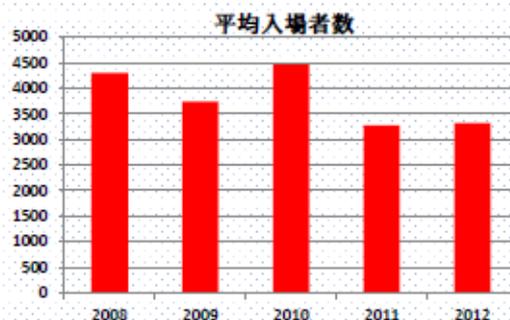
【カターレ富山】 SEASON DATA

◆2008～2012シーズン成績

シーズン	勝	敗	引き分け	順位	リーグ
2008	18	8	8	3位 / 18チーム	JFL
Jリーグへ昇格					
2009	15	20	16	13位 / 18チーム	J2
2010	8	24	4	18位 / 19チーム	J2
2011	11	17	10	16位 / 20チーム	J2
2012	9	22	11	19位 / 22チーム	J2
2013				位 / チーム	J2

◆ホームゲーム入場者数

シーズン	試合数	総入場者数	平均入場者数
2008	17	73,205名	4,306名
Jリーグへ昇格			
2009	25	93,507名	3,740名
2010	18	80,327名	4,463名
2011	19	62,233名	3,275名
2012	21	69,807名	3,324名
2013			



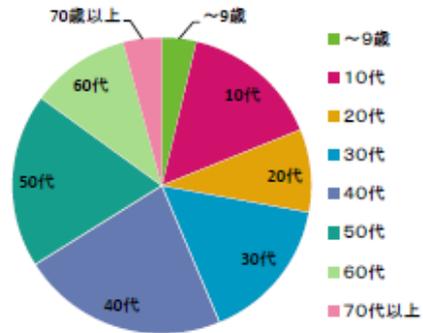
情報提供資料より

【カターレ富山】 DATA

◆2010 ファンクラブ会員 世代別比率

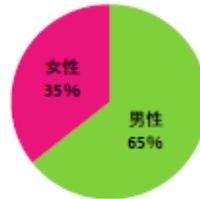
年齢別	会員数	割合	年齢別割合	
			男性	女性
～9歳	333	3.7%	194	139
10代	1,368	15.2%	920	448
20代	813	9.0%	493	320
30代	1,425	15.8%	900	525
40代	2,018	22.4%	1,245	773
50代	1,713	19.0%	1,174	539
60代	973	10.8%	678	295
70代以上	374	4.1%	261	113
total	9,017		5,865	3,152

※生年月日未記入は未対応



◆2010 ファンクラブ会員 男女比率

性別	会員数	割合
男性	5,865	65.0%
女性	3,152	35.0%
total	9,017	



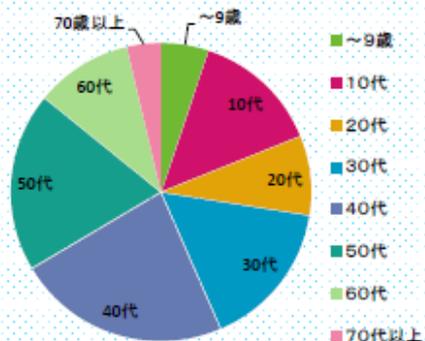
情報提供資料より

【カターレ富山】 DATA

◆2012 ファンクラブ会員 世代別比率

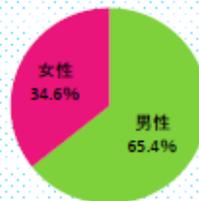
年齢別	会員数	割合	年齢別割合	
			男性	女性
～9歳	337	5.1%	214	123
10代	911	13.7%	592	319
20代	568	8.5%	334	234
30代	1,056	15.9%	664	392
40代	1,517	22.9%	979	538
50代	1,284	19.4%	892	392
60代	691	10.4%	491	200
70代以上	241	3.6%	154	87
total	6,605		4,320	2,285

※生年月日未記入は未対応



◆2012 ファンクラブ会員 男女比率

性別	会員数	割合
男性	4,320	65.4%
女性	2,285	34.6%
total	6,605	



情報提供資料より

【カターレ富山】

～ホームタウン活動～

「市町村サンクスデー」

■趣旨

カターレ富山のリーグ公式戦ホームゲームにおいて、「市町村サンクスデー」と銘打った「市町村の日」を定め、クラブと各市町村との連携を強化するとともに、試合会場において当該市町村のPRを行っていただくというもの。また、カターレ富山のホームタウンである全市町村を対象とした「ホームタウンデー」を年に1度開催し、ご当地グルメナンバーワンを決める『T-1グランプリ』などのイベントを通して試合会場を盛り上げる。

■市町村サンクスデー開催日程

- 【富山市の日】 J2第3節 3月17日(日) 16:00キックオフ vs.愛媛FC
 - 【舟橋村の日】 J2第8節 4月14日(日) 16:00キックオフ vs.ヴィッセル神戸
 - 【ホームタウンデー】 J2第11節 4月28日(日) 16:00キックオフ vs.東京ヴェルディ
 - 【朝日町の日】 J2第18節 6月8日(土) 14:00キックオフ vs.ザスバ草津
 - 【黒部市の日】 J2第21節 6月29日(土) 18:00キックオフ vs.ファジアーノ岡山
 - 【射水市の日】 J2第25節 7月20日(土) 18:00キックオフ vs.V・ファーレン長崎
 - 【滑川市・小矢部市の日】 J2第27節 8月4日(日) 18:00キックオフ vs.コンサドーレ札幌
- ※「滑川市の日」と「小矢部市の日」は共催となります。
- 【高岡市の日】 J2第31節 8月25日(日) 18:00キックオフ vs.モンテディオ山形
 - 【砺波市の日】 J2第33節 9月15日(日) 時間未定 vs.ギラヴァンツ北九州
 - 【南砺市の日】 J2第36節 10月6日(日) 時間未定 vs.ロアッソ熊本
 - 【魚津市の日】 J2第38節 10月27日(日) 時間未定 vs.水戸ホーリーホック



オフィシャルウェブサイト

<http://www.kataller.co.jp/club/index.html> より

【カターレ富山】

～ホームタウン活動～

「学校・福祉施設への訪問」

「東日本大震災復興支援活動」

「周辺住民との交流」

「とやま子育て応援団との連携」

「エコロジー活動」

「各種イベントへの参加」



八重津浜海水浴場で清掃活動を実施



新保小学校の子ども達と一緒に田植え体験



『新保ル・ロード 花いっぱい運動』

情報提供資料及び、オフィシャルフェイスブックページ

https://www.facebook.com/katallertoyama_official/ より

【カターレ富山】

～ホームタウン活動～

「キッズ巡回指導」

富山県サッカー協会からの委嘱を受けて、普及・育成コーチが幼稚園や保育園を巡回し、遊び感覚のプログラムでチビ子たちと触れあっています。スポーツの楽しさを伝え、友達を大切に作る心を育みたい。

そんな願いを込めて実施しています。

2012年度は373回実施しました。



情報提供資料及び、オフィシャルブログ「Academy School」
<http://www.kataller.co.jp/blog/academy/> より

【カターレ富山】

～ホームタウン活動～

「プロ直伝！とやま夢づくりスポーツ塾」

子供たちにサッカーの楽しさを実感してもらうとともに、技術の向上をはかり大きな夢を育んでもらいたいという思いで富山県の委嘱を受け県内の幼稚園や小学校等で実施しています。



□開催

- ・2012年4月9日
- ・2012年6月18日
- ・2012年6月19日
- ・2012年6月26日
- ・2012年7月2日
- ・2012年7月3日
- ・2012年7月17日
- ・2012年7月20日

□対象

- ・石動西部保育園児
- ・千鳥丘小学校（高岡市）
- ・千鳥丘小学校（高岡市）
- ・新保小学校
- ・立山中央小学校
- ・立山中央小学校
- ・白旗西部小学校（上市町）
- ・徳川小学校

□開催

- ・2012年7月23日
- ・2012年9月6日
- ・2012年9月20日
- ・2012年9月24日
- ・2012年10月18日
- ・2012年10月24日
- ・2012年10月25日

□対象

- ・徳川小学校
- ・徳光東部小学校（高岡市）
- ・徳野小学校
- ・徳野小学校
- ・西田地方小学校
- ・龍波北部小学校
- ・鷹栖小学校

情報提供資料及び、オフィシャルフェイスブックページ
<https://www.facebook.com/katallertoyama.official> より

【カターレ富山】 ホームタウン活動

訪問活動

サッカー教室・イベント

◆開催日	◆活動内容・名称	◆開催場所	◆対象者
・2012年1月14日	・2012魚津市新春サッカー大会	・魚津市総合体育館	・小学生以下
・2012年3月11日	・プロスポーツ選手と一緒にスポーツを楽しもう	・山室小学校	・小学生以下
・2012年4月7日	・輪坂チャンピオンズリーグ大会	・婦中スポーツプラザ	・小学生以下、保護者
・2012年4月12日	・芝生植樹記念事業～まどかサッカーフェスティバル～	・まどか幼稚園	・まどか幼稚園児
・2012年7月1日	・東明小学校「親子サッカー教室」	・東明小学校(射水市)	・小学生以下
・2012年7月28日	・カターレ富山の選手と一緒に楽しもう！ IN とやま健康パーク	・とやま健康パーク	・小学生以下
・2012年8月3日	・北陸電気工業「サッカー教室&フットサル」	・アイザックススポーツドーム	・小学生以下
・2012年8月25日	・「カターレ富山サッカー教室」南砺市サッカー協会	・福光総合グラウンド	・小学生以下
・2012年9月1日	・「カターレ富山サッカー教室」①	・入善町運動公園陸上競技場	・小学生以下
・2012年9月8日	・「カターレ富山サッカー教室」②	・入善町運動公園陸上競技場	・小学生以下
・2012年10月8日	・第12回スポーツフェスティバルinとなみ	・富山県西部体育センター	・小学生以下
・2012年10月8日	・オータムイベント2012	・富山県空港スポーツ緑地	・地域住民
・2012年10月13日	・「カターレ富山サッカー教室」③	・入善町運動公園陸上競技場	・小学生以下
・2012年10月20日	・「カターレ富山サッカー教室」④	・入善町運動公園陸上競技場	・小学生以下
・2012年10月27日	・ゴールドウィン「カターレ富山サッカー教室」	・小矢部運動公園	・小学生以下



情報提供資料及び、オフィシャルフェイスブックページ
https://www.facebook.com/katartoyama_official/ より

【カターレ富山】 ホームタウン活動

市町村活動

地元イベント

◆開催日	◆活動内容・名称	◆開催場所	◆対象
・2012年4月6日	・「春の全国交通安全運動 富山県特別式」	・富山県警察本部	・行政
・2012年4月9日	・「しめら～れ！シートベルト着用キャンペーン」	・国道8号線沿い	・不特定
・2012年5月26日	・「仲良し田んぼ」田植え体験教室	・富山市秋ヶ島公民館横	・地域住民、新保校区住民
・2012年6月3日	・「新保ル・ロード 花いっぱい運動」	・新保校区(県道沿い)	・地域住民、新保校区住民
・2012年7月29日	・「We Go! だらまつり2012」	・四方海浜公園	・地域住民
・2012年8月5日	・「第48回富山新港新渡まつり」	・海王丸パーク	・不特定
・2012年8月19日	・新保校区「ふるさとづくり住民大運動会」	・富山県総合運動公園	・地域住民
・2012年9月20日	・「交通安全体験塾」	・富山県総合運動公園屋内グラウンド	・地域住民
・2012年9月23日	・第11回「花のゲレンデ大作戦」	・立山山麓スキー場	・地域住民
・2012年9月29日	・「仲良し田んぼ 稲刈り体験教室」	・富山市秋ヶ島公民館横	・地域住民、新保校区住民
・2012年10月8日	・「おまわりさんの演奏とドリルの祭典」	・オーバードホール	・不特定
・2012年10月12日	・「カターレ富山との鍵かけキャンペーン」①	・JR富山駅	・不特定
・2012年10月19日	・「カターレ富山との鍵かけキャンペーン」②	・JR富山駅	・不特定
・2012年10月21日	・「複数回献血会員募集イベント」	・富山駅北地区	・不特定

介護福祉活動/環境・清掃活動

◆開催日	◆活動内容・名称	◆開催場所	◆対象者
・2012年5月30日	・きときと！つやつや！プロジェクト ～サッカーボールを使った介護予防運動～	・株式会社アルプス	・障がい者、高齢者
・2012年6月2日	・とやま山王市における清掃活動	・富山市西町周辺	・地域住民
・2012年6月3日	・八重津浜海水浴場清掃活動	・八重津浜海水浴場	・ファン、サポーター
・2012年8月19日	・ふるさと富山美化大作戦	・富山市丸の内、総曲輪周辺	・ファン、サポーター

12

情報提供資料より

【カターレ富山】 ホームタウン活動

その他

富山県総合運動公園陸上競技場での活動、ホームゲームイベント

◆開催

- ・2012年4月22日
- ・2012年4月22日
- ・2012年5月6日
- ・2012年5月20日
- ・2012年6月2日
- ・2012年6月13日
- ・2012年6月24日
- ・2012年7月22日
- ・2012年7月29日
- ・2012年8月12日
- ・2012年9月2日
- ・2012年9月2日
- ・2012年9月17日
- ・2012年10月7日
- ・2012年10月7日
- ・2012年10月28日

◆活動内容・名称

- ・ホームゲーム サイン会
- ・シーズンパス購入者「ふれあいサッカー」
- ・親子DE PKチャレンジ
- ・ホームゲームサイン会
- ・ホームゲームサイン会
- ・ホームゲームグッズ販売補助
- ・北日本新聞「親子サッカー」「ミニ新聞」発行
- ・シーズンパス購入者 選手お出迎え
- ・JFAキッズフェスティバル2012
- ・JFAキッズフェスティバル2012
- ・北日本新聞「親子サッカー」
- ・写真撮影会
- ・ファミリースポーツフェスティバルinとやま2012
- ・サイン会
- ・朝日新聞ファミリーサッカースクール
- ・サイン会/シーズンパス購入者 選手お出迎え



情報提供資料より



T-birds baseball club official website

富山サンダーバーズ

TOYAMA THUNDERBIRDS BASEBALL CLUB



【富山サンダーバーズ】

～球団理念～

- 野球を通じた地域活性
- 健全な青少年の育成に貢献
- 夢追う若者にチャレンジの場を提供する



オフィシャルウェブサイト <http://www.t-thunderbirds.jp/team/line/> より

【富山サンダーバーズ】 DATA

◆2007～2012シーズン成績

シーズン	勝	敗	引き分け	順位	備考
2007	43	26	3	2位 / 4チーム	
2008 (前期)	19	15	2	優勝 / 3チーム	北陸地区優勝、BCLチャンピオンシップ優勝、 独立リーググランドチャンピオンシップ準優勝
2008 (後期)	16	12	8	優勝 / 3チーム	
2009 (前期)	21	13	2	2位 / 3チーム	
2009 (後期)	17	18	1	2位 / 3チーム	
2010 (前期)	14	20	2	3位 / 3チーム	
2010 (後期)	14	18	4	3位 / 3チーム	
2011 (前期)	15	18	3	2位 / 3チーム	
2011 (後期)	10	21	5	3位 / 3チーム	
2012 (前期)	16	19	1	3位 / 3チーム	
2012 (後期)	13	21	2	2位 / 3チーム	
2013 (前期)				位 / 3チーム	

◆ホームゲーム総入場者数

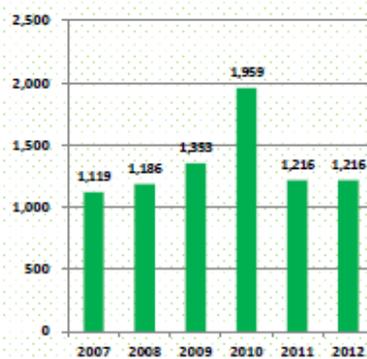
シーズン	試合数	総入場者数	平均入場者数
2007	36	72,175名	2,005名
2008	36	49,715名	1,381名
2009	36	45,986名	1,277名
2010	36	27,601名	767名
2011	36	25,329名	704名
2012	37	20,313名	549名

ホームゲーム平均入場者数

情報提供資料より

ファンクラブ会員数の推移

		2007	2008	2009	2010	2011	2012
カテゴリー	会費	口数	口数	口数	口数	口数	口数
個人	プレミアム	30		110	93	61	61
	レギュラー	10	1,015	999	717	1,003	778
	アソシエイト	3		257	634	244	244
	ジュニア	1		126	84	46	46
法人	コーポレート	30	104	176	137	84	84
その他	チーム	30		11	6	7	3
計		1,119	1,186	1,353	1,959	1,216	1,216



情報提供資料より

～地域貢献活動～

「MIKITO AED PROJECT (ミキトAEDプロジェクト)」

2006年7月9日、野球の試合前に急性心不全で倒れ、帰らぬ人となった新潟県糸魚川市の水島樹人君。将来はプロ野球選手になるのが夢で、「地元にもプロ野球があればいいのに」ということも、よく言っていたそうです。

大阪府岸和田市の私立飛翔館高校で高校野球の試合中、投手が打球を胸に受けて心肺停止状態になるも同校に設置されていた自動体外式除細動器 (AED) で蘇生させ一命を取り留めた話は、当時もし樹人君の近くにAEDがあったら・・・と想像してしまいます。樹人君はもう戻ってこない。しかし樹人君もきっとAEDの普及を願っているに違いない。そう信じて、北信越BCリーグは「MIKITO AED PROJECT」を立ち上げたとのことです。富山サンダーバーズもこれに賛同しています。一人ではできないことも、力を合わせれば変えられる。皆様ご協力をよろしくお願いします。

シリコンバンドの収益はAED購入に充てられ、球団を通じて各県に寄贈されます。



【富山サンダーバーズ】

～地域貢献活動～

「とやまクリーンプロジェクト」

【主旨】

1. ゴミの減量化

紙コップ、ビニール袋の大幅削減によりゴミの減量化を実現する。

2. 環境負荷の低減

使い捨てではなく、繰り返し利用することにより環境負荷を低減する。

3. 環境啓蒙活動

楽しみながら環境を考えるきっかけをつくることで、若年層から環境に対する啓蒙活動を行う。



【マイカップ・マイバック運動】

マイカップ持参者には、特別料金にてドリンクをご購入いただけるサービスを提供

■生ビール 紙コップ 600円 → マイカップ 500円

■ソフトドリンク 紙コップ 200円 → マイカップ 150円

【地域との取り組み】

～地域住民と球場周辺の清掃活動～

富山サンダーバーズエコプロジェクト。地域住民と試合会場内外で、清掃活動を通して環境教育の普及と環境保全活動の実施。

情報提供資料及び、オフィシャルウェブサイト 19

http://www.t-thunderbirds.jp/clean_project/index.html より

【富山サンダーバーズ】

～地域貢献活動～

「富山サンダーバーズ・カギかけ隊員」

富山県の自転車等無施錠被害率は全国平均を大きく上回っており、富山県警による施錠強化月間「カギかけキャラバン隊」に参加し、チラシ配布、野球教室の実施、無施錠、犯罪防止の啓蒙活動に協力する。



【カギかけキャラバン・カギかけ防止キャンペーン】

主な参加場所：黒部中央小学校、相ノ木小学校、岩瀬中学校、魚津東部中学校、旧船見中学校、滑川中学校、大沢野中学校、山田小学校・中学校、大阪屋ショップ、イオン高岡・砺波等



情報提供資料及び、オフィシャルブログ 20

<http://www.t-thunderbirds.jp/stafflog/cat133/> より



【富山グラウジーズ】

～富山グラウジーズとは～

北陸初のプロスポーツチーム、富山県富山市をホームタウンとするプロバスケットボール球団です。富山の顔となるべく、親しみやすいチームづくりを目指すとともに、バスケットボールの強化・普及・発展に貢献、スポーツ文化の定着に積極的に取り組みます。スポーツのみならず、さまざまな地域貢献活動にも積極的に取り組み、富山の活性化の手助けをさせていただきたいと思っております。具体的には、学校活動、地域スポーツクラブ、NPOなどとの連携を推進し、地域で行われるイベントなどのコミュニケーション活動へ積極的に参加、豊かなスポーツ文化の振興、健全な青少年の育成、国際交流の機会提供、地域住民の心身の健全な発達に寄与することを目的としています。

富山グラウジーズ 情報提供資料より



オフィシャルウェブサイト <http://grouses.jp/team> より

【富山グラウジーズ】 SEASON DATA

レギュラーシーズン戦績



Professional Basketball Team TOYAMA GROUSES

シーズン	勝	敗	勝率	順位	備考
2006-2007	13	27	.352	7位 / 8チーム	
2007-2008	7	37	.159	5位 / 5チーム	カンファレンス創導入(東地区所属)
2008-2009	11	41	.212	6位 / 6チーム	
2009-2010	17	35	.327	6位 / 6チーム	
2010-2011	13	31	.295	7位 / 7チーム	プレイオフ進出: 地区初戦敗退
2011-2012	25	27	.481	5位 / 10チーム	プレイオフ進出: 地区初戦敗退
2012-2013	35	17	.673	3位 / 11チーム	プレイオフ進出: 地区準決勝敗退

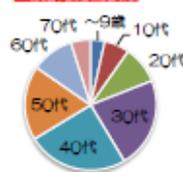
レギュラーシーズン来場者数

シーズン	総来場者数	1試合平均
2006-2007	36,580名	1,829名
2007-2008	35,530名	1,615名
2008-2009	48,152名	1,852名
2009-2010	45,032名	1,732名
2010-2011	30,822名	1,401名
2011-2012	42,068名	1,618名
2012-2013	40,586名	1,561名

※プレシーズン、プレイオフ開催など含まず

- 歴代No.1 1試合観客動員数 (3,702名)
※2007年4月1日:新潟戦(富山市総合体育館)
- 歴代No.2 1試合観客動員数 (2,860名)
※2013年3月31日:徳島戦(富山県総合体育センター)
- 歴代No.3 1試合観客動員数 (2,766名)
※2012年4月14日:徳島戦(富岡市竹平記念体育館)

■来場者世代別



■来場者男女比



© TOYAMA GROUSES

富山グラウジーズ 情報提供資料より

23

【富山グラウジーズ】 DATA

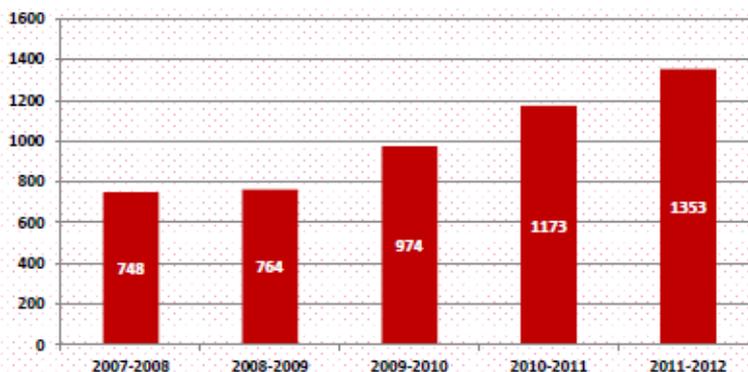
ブースタークラブ会員数の推移

★総ブースタークラブ会員数 1431名

2013年1月23日現在(過去最高)

★2011-2012シーズン実績 1353名

〈プレミアム会員〉218名 ※プレミアム会員:シーズンチケットホルダー
 〈レギュラー会員〉1135名



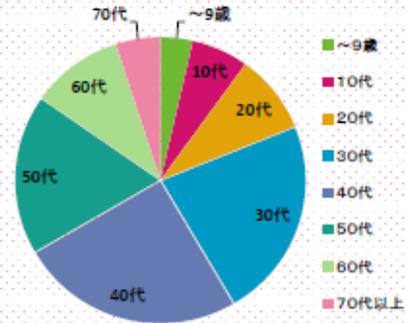
富山グラウジーズ 情報提供資料より

24

【富山グラウジーズ】 DATA

◆ブースタークラブ会員 世代別比率

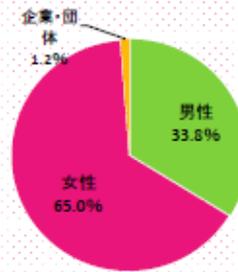
年齢別	会員数	割合	年齢別割合	
			男性	女性
～9歳	18	3.6%	8	10
10代	32	6.4%	21	11
20代	45	8.9%	33	12
30代	114	22.7%	101	13
40代	126	25.0%	112	14
50代	91	18.1%	76	15
60代	52	10.3%	36	16
70代以上	25	5.0%	8	17



※生年月日未記入は未対応

◆ブースタークラブ会員 男女比率

性別	会員数	割合
男性	411	33.8%
女性	791	65.0%
企業・団体	15	1.2%
total	1,217	



富山グラウジーズ 情報提供資料より

2012-13 season TOYAMA GROUSES



株式会社 富山グラウジーズ

青少年育成事業

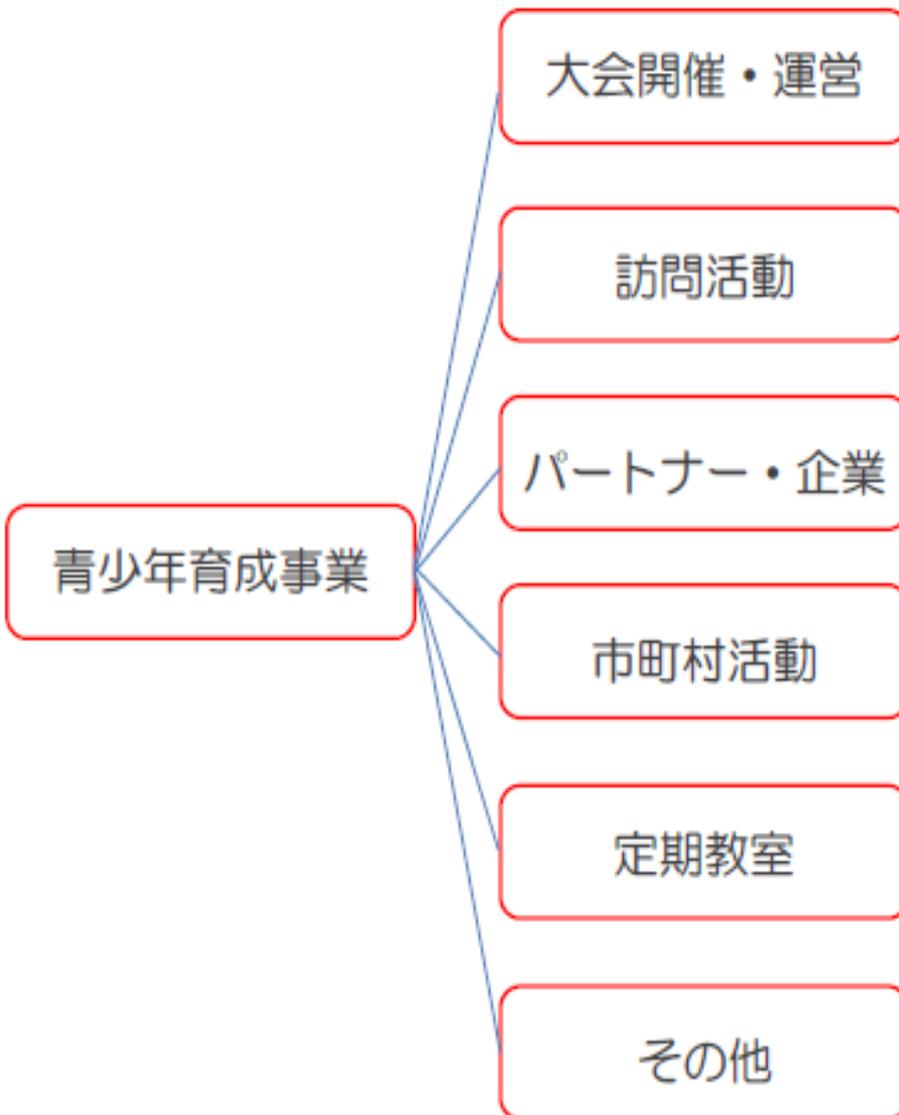
選手

2012-2013 season

26

青少年育成事業

富山で元気と夢を創造する富山グルウジーズにおいて、富山の子供たちと共にする活動は、大きな柱の一つになります。子供たちへのバスケットボール指導・交流活動は地域に根差したチームを目指す富山グルウジーズの最大の特徴とも言えます。青少年育成事業には大きく5つに分けることが出来ます。一つ目は子供たちの大会開催・運営、二つ目は県内の幼稚園・保育所・小学校訪問、三つ目はパートナー・企業との取り組み、四つ目は市町村活動、五つ目は定期教室活動。このほかにも富山グルウジーズではスペシャルオリンピックスバスケットボールプログラムに参加もしております。



2012-13 season TOYAMA GROUSES



大会開催・運営

富山グラウジーズでは小学生と中学生の大会を開催・運営することにより、子供たちにバスケットボールをプレイする機会を提供しています。小学生の大会はGROUSES LEAGUE、中学生の大会はGROUSES CUPとしてそれぞれ運営しています。富山新聞様より特別協力をいただき、開催・運営をしております。

富山新聞 presents GROUSES CUP 2012 参加者172名

- 開催日：2013年1月13日（日）、14日（月・祝）
- 開催場所：片山学園中学校・高等学校体育館
- 参加チーム
男子 8チーム
 - ・朝日中学校
 - ・GROUSES.NET（クラブチーム）
 - ・富大附属中学校
 - ・TAKAKA BASKETBALL CLUB（クラブチーム）
 - ・西條中学校
 - ・出町中学校
 - ・西江中学校
 - ・大谷中学校

女子 6チーム

- ・BC KUROBE（クラブチーム）
- ・GROUSES.NET（クラブチーム）
- ・連星中学校
- ・新湊西部中学校
- ・志貴野中学校
- ・庄西中学校



富山新聞 presents GROUSES LEAGUE 2012 参加見込み約200名

<予選ラウンド>

- 開催日：2013年2月23日（土）、24日（日）
- 開催場所：23日（土）新湊アイシン軽金属スポーツセンター
24日（日）ヨシダ大島体育館
- 参加チーム（予定）16チーム（富山県内：14チーム/県外：2チーム）最終調整中

<決勝ラウンド>

- 開催日：3月17日（日）※富山グラウジーズホームゲーム前座試合として開催
- 開催場所：南砺市旭野体育館
- 参加チーム：2チーム（予選ラウンドを勝ち抜いた2チーム）

<スペシャルラウンド（オールスター戦）>

- 開催日：3月31日（日）※富山グラウジーズホームゲーム前座試合として開催
- 開催場所：富山県総合体育センター
- 参加チーム：GROUSES LEAGUE オールスターチーム
県外オールスターチーム（滋賀の選抜チームを予定）

28

2012-13 season TOYAMA GROUSES



訪問活動

富山グラウジーズでは県内の幼稚園、保育所、小学校を訪問し、バスケットボール教室等を通して、交流を深めています。訪問活動は大きく3つに分けることが出来ます。一つ目は子供と遊ぼうプロジェクト、二つ目はプロ宣伝！とやま夢づくりスポーツ塾（富山県の委託を受けた事業です）、三つ目はバスケがしたい！biリーグスクールキャラバン。

子供と遊ぼう！プロジェクト 県内8か所 参加者約742名

開催日	開催場所	参加者
・2012年6月24日	・芝園小学校	・4年生児童・保護者 約100名
・2012年7月6日	・牧野小学校	・4年生児童・保護者 約150名
・2012年7月14日	・上青小学校	・児童・保護者 約50名
・2012年7月15日	・針原小学校	・6年生児童・保護者 約86名
・2012年7月15日	・針原小学校	・6年生児童・保護者 約86名
・2012年7月21日	・宮田小学校	・5年生児童・保護者 約80名
・2012年7月21日	・光瀧小学校	・児童・保護者 約100名
・2012年7月22日	・放生津小学校	・4年生児童・保護者 約90名



プロ宣伝！とやま夢づくりスポーツ塾 県内11か所 参加者約621名

開催日	参加者
・2012年6月26日	・Grouses, Net(クラブチーム) 約15名
・2012年6月28日	・荻生小学校 5・6年生 約35名
・2012年6月29日	・興羽小学校 6年生 約113名
・2012年7月9日	・パンパン達磨(クラブチーム) 約26名
・2012年7月19日	・小矢部MBC(クラブチーム) 約40名
・2012年7月20日	・生地小学校 約197名
・2012年7月27日	・南加積保育所 約35名
・2012年7月30日	・ひまわり幼稚園 約30名
・2012年7月31日	・四方保育所 約28名
・2012年8月4日	・上市町内小学生・中学生 約80名
・2012年8月10日	・TAKAOKA BC(クラブチーム) 約22名



バスケがしたい！biリーグスクールキャラバン 県内1か所 参加者94名

- 開催日：11月21日
- 開催場所：砺波南部小学校
- 参加者：5・6年生 94名
- 主催：biリーグ / 富山グラウジーズ
- 後援 文部科学省
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山県支部
富山県教育委員会 毎日新聞社
スポーツニッポン新聞社
- 特別協賛：ジブラルタ生命（担当 富山エリア 高岡支部）



29

2012-13 season TOYAMA GROUSES



パートナー・企業との取り組み

富山グラウジーズでは県内のパートナーおよび企業のご協力のもと、バスケットボール教室、クリニック活動等、さまざまな活動を行っております。

リードケミカル presents リードケミカルカップ 参加者235名

開催日：2012年11月6日、7日、11日 ※富山グラウジーズホームゲーム前座試合として開催

場所：丸山総合公園上市町総合体育館大アリーナ

参加チーム

- ・上市さんさんアンテロープス
- ・湊川ミニバスケットボールクラブ
- ・立山レオニス
- ・GROUSES. Net



JA高岡カップ、JA高岡「夏休みこども村」 参加者77名

<JA高岡カップ>

開催日：2012年12月9日 ※富山グラウジーズホームゲーム前座試合として開催

場所：新湊アイシン軽金属スポーツセンター

参加者：高岡地区女子ミニバスケットボールチーム 選抜メンバー 41名

<JA高岡「夏休みこども村」>

開催日：2012年8月16日

場所：高岡市二上まなび交流館

参加者：高岡市内小学生 36名



TAMインターネットサービス presents スクールキャラバン 参加者367名

開催日：2012年11月6日、7日、8日、9日

場所：丸山総合公園上市町総合体育館大アリーナ

参加者：上市地区幼稚園・保育園、小学生、中学生



「富山銀行 夢応援！プロジェクト」バスケットボール教室 参加者50名

開催日：2012年9月27日

場所：神通西小学校

参加者：3年生～6年生 50名



読売新聞 presents 親子バスケットボール教室 参加者70名

開催日：2012年9月2日

場所：小杉体育館

参加者：小学生親子 70名



2012-2013 season

2012-13 season TOYAMA GROUSES



市町村活動

富山グラウジーズでは県内のさまざまな市町村とタイアップすることによって、バスケットボール教室、クリニック活動等、さまざまな活動を通して地域との交流を深めています。

チャレンジデー2012 in なんと 参加者70名

開催日：2012年5月30日
場所：南砺市立福野中学校
参加者：福野・井波地区ミニバスケットボールプレイヤー



サマーキャンプ 2012 in おやべ 参加者約140名

開催日：2012年8月24日、26日
場所：小矢部市民体育館
参加者：24日は小矢部市・高岡市の子供たち 約80名
26日は小矢部市・氷見市の子供たち 約80名



第12回 かみいちスポーツまつり 参加者約50名

開催日：2012年9月30日
場所：丸山総合公園上市町総合体育館中アリーナ
参加者：上市地区幼稚園・保育所、小学生 約50名



滑川ライオンズクラブ presents バスケットボールクリニック 参加者約80名

開催日：2012年10月8日 ※富山グラウジーズホームゲーム前座イベントとして開催
場所：滑川市総合体育センター
参加者：滑川市内ミニバスケットボールチーム 男女 約80名



2012-13 season TOYAMA GROUSES



定期教室

富山グラウジーズでは県内のさまざまなスポーツクラブ、および団体とタイアップすることによって、定期的なバスケットボール教室を開催し、地域との交流を深めています。

さらびか☆スポーツクラブ バスケットボール教室 参加者約35名

開催日：毎週水曜日
場所：2000年体育館
参加者：さらびかスポーツクラブ所属 小学生・中学生



おおやま総合型スポーツクラブ バスケットボール教室 参加者約20名

開催日：2012年5～7月(前期)、9～12月(後期) 各10回
場所：上滝小学校体育館
参加者：おおやま総合型スポーツクラブ所属 小学生



ひなはし文化スポーツクラブ バスケットボール教室 参加者7名

開催日：2012年6～8月 全10回
場所：舟橋村小学校体育館
参加者：ひなはし文化スポーツクラブ所属 小学生



中加積幼稚園 バスケットボール教室 参加者約70名

開催日：適年 月に約2回程度
場所：中加積幼稚園
参加者：中加積幼稚園 園児



リトルトット バスケットボール教室 参加者約40名

開催日：2012年7月～ 毎週土曜日
場所：上市市内小学校
参加者：ウェルネススポーツクラブ所属 園児・小学生



32

2012-13 season TOYAMA GROUSES



ダンス部門

富山グラウジーズではバスケットボールだけではなく、HIPHOPを中心としたダンスの普及活動も行なっています。その活動を支えるのが、県内でもトップクラスの実力を誇る富山グラウジーズ専属ダンスチーム G.O.Wのメンバー、元メンバー達です。

北日本新聞presents G.O.Wダンス塾スクールキャラバン 参加者約270名

開催日：2012年8～3月（計4回）
場所：県内各地
参加者：一般からの応募



G.O.Wダンス塾ワークショップ@魚津スコール 参加者約28名

開催日：2012年7月、2013年3月 各10回
場所：魚津 S-QOL（スコール）
参加者：魚津市周辺の小学生（応募制）



大久保小学校 親子活動 参加者60名

開催日：2012年6月16日
場所：大久保小学校体育館
参加者：大久保小学校 6年生の児童・保護者



富山大学人間発達学部附属小学校 ふたば会主催交流まつり 参加者約300名

開催日：2012年10月28日
場所：富山大学人間発達学部附属小学校 体育館
参加者：附属小学校 全生徒



G.O.Wダンス・ワークショップ@富山市立保内小学校 参加者約250名

開催日：2013年1月26日
場所：富山市立保内小学校 体育館
参加者：保内小学校 全生徒



33

2012-13 season TOYAMA GROUSES



その他

富山グラウジーズではスペシャルオリンピックス日本・富山のバスケットボールプログラムにも参加しています。富山グラウジーズではチーム創立初年度から活動に参加させていただいております。今年も6月から選手およびスタッフが活動に参加いたしました。

スペシャルオリンピックス日本・富山 バスケットボールプログラム 参加者約70名

開催日：2012年5～10月 全10回

場所：富山市内体育館

5月27日、9月9日には選手も参加いたしました。



2012-13 season TOYAMA GROUSES



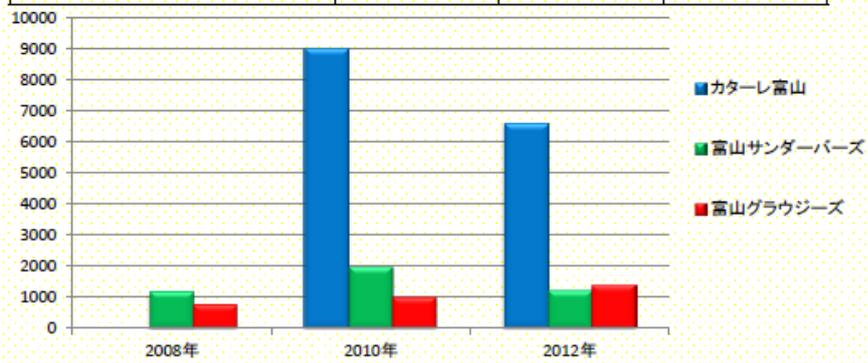
青少年育成事業 参加人数 計4,108名

部門	内容	参加人数	合計
大会開催・運営	富山新聞 presents GROUSES CUP 2012	172	372
	富山新聞 presents GROUSES LEAGUE 2012	200	
訪問活動	子供と遊ぼう！プロジェクト	742	1457
	プロ直伝！とやま夢づくりスポーツ塾	621	
	バスケがしたい！bjリーグスクールキャラバン	94	
パートナー・企業	リードケミカル presents リードケミカルカップ	235	799
	JA高岡カップ	41	
	JA高岡「夏休みこども村」	36	
	TAMインターネットサービス presents スクールキャラバン	367	
	「富山銀行 夢応援！プロジェクト」バスケットボール教室	50	
	読売新聞 presents 親子バスケットボール教室	70	
市町村活動	チャレンジデー 2012 in なんと	70	340
	サマーキャンプ 2012 in おやべ	140	
	第12回 かみいちスポーツまつり	50	
	蒲川ライオンズクラブ presents バスケットボールクリニック	80	
定期教室	きらびかスポーツクラブ バスケットボール教室	35	162
	おおよま総合型スポーツクラブ バスケットボール教室	10	
	ふなはし文化スポーツクラブ バスケットボール教室	7	
	中加権幼稚園 バスケットボール教室	70	
	リトルトゥット バスケットボール教室	40	
ダンス部門	北日本新聞presentsG.O.Wダンス塾スクールキャラバン(計4回)	270	908
	G.O.Wダンス塾スクール校ワークショップ	28	
	大久保小学校 親子活動	60	
	富山大学人間発達科学部附属小学校 ふたば会主催 交流まつり	300	
	G.O.Wダンスワークショップ@富山市立保内小	250	
その他	スペシャルオリンピックス日本・富山 バスケットボールプログラム	70	70
		計	4,108

富山グラウジーズでは今後もさまざまな地域貢献活動・
青少年育成活動を続けてまいります。

ファンクラブ会員数推移

	2008年	2010年	2012年
 カターレ富山		9017	6605
 富山サンダーバース	1186	1959	1216
 富山グラウジーズ	748	974	1353



36

<参考資料> 4. 開催風景

[討議風景]



[発表風景]



[投票風景]



[会場風景]



地産地消について意見交換する参加者―富山国際会議場



地産地消推進へ提言
富山で市民討議会

富山市と富山青年会議所が共催する「とやま まちづくり市民討議会2013」が29日、同市の富山国際会議場で始まり、市民25人が地産地消やプロスポーツ活性化の推進について意見を交わした。30日まで。

幅広い市民の声を市政に反映させ、行政への市民参画意識を高めようと、2010年から毎年開催している。住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民千人のうち、抽選で選ばれた希望者が参加した。

参加者は五つのグループに分かれて討議し、提言をまとめて発表した。地産地消については「耕作放棄地を市民農園として活用してはどうか」「市の条例でスーパ一の一角に必ず専用コーナーをつくる」などの提言が出された。30日はこの日と別の市民25人が参加する。2日間の討議の内容は、富山青年会議所が9月8日にランドプラザで開催予定のまちづくりに関するイベントで紹介される。

北日本新聞(6月30日朝刊)

地産地消について意見交換する参加者―富山市の富山国際会議場



地産地消に理解深める
富山JIC企画
まちづくり市民討議会

富山青年会議所（JIC）と富山市の「まちづくり市民討議会」は29日、富山市の富山国際会議場で開かれ、無作為で選ばれた市民とJICの会員計約60人が地産地消や活性化について理解を深めた。参加者は2010年

度の県の食料自給率がカロリーベースで77%だったことや、野菜の生産額が全国で最低水準であるとの説明を受けた後、5グループに分かれて農業を守る取り組みについて意見交換した。

発表会では、耕作放棄地を「市民農園」として開放する案や地場産品を使ったレシピの普及などの提案が出された。地元のプロスポーツチームを活用したまちづくりも議論した。討議会は30日も同所で開かれる。集まった意見は富山市に報告するほか、9月8日に同市総曲輪のランドプラザで富山JICの会員が発表する。

富山新聞(6月30日朝刊)



活発に意見を出し合う市民討論会の参加者ら＝富山市大手町

富山まちづくり 市民がアイデア

無作為抽出の50人

富山市民を無作為に選
び、初対面同士で地域の課
題を話し合う「とやま
まちづくり市民討論会」が30
日、富山市大手町の富山国
際会議場で開かれた。22〜
82歳の男女25人が「地産地
消」と「とやまのプロスポ

ーツ活性化」について熱心
に意見を交わした。
富山市と富山青年会議所
が共催し、今年で4回目。
住民基本台帳から抽出した
1千人に連絡し、参加希望
者の中から抽選で29、30各
日25人ずつを選んだ。参加
者には謝礼5千円が支払わ
れた。

「プロスポーツ」は、サ
ッカーJ2・カタール・富
山、プロ野球BCリーグ・
富山サンダーバーズ、バス
ケットボールbjリーグ・
富山クラウジーズの3球団
を対象に、5班に分かれて
話し合った。
まず自由に意見を出して

班ごとに絞り込んでいき、
「地元出身のスター選手を
アピール」「ピアガーデン
バスで送迎」「人通りの多
いところでミニゲームを見
せる」などが発表された。
カタール・富山の清原邦彦
社長も会場で「興味のない
人にどう関心を持ってもら
うかが一番の悩み」と訴
え、「女性専用席」など多
様な意見に関心を示してい
た。

2日間の議論の内容は報
告書にまとめて市のホーム
ページに掲載し、9月8日
には富山青年会議所のイベ
ントで報告会を開く。
(三島庸孝)

市民の声 市政に注文

地産地消、スポーツ議題

富山で討論会

市政に市民の声を生
かす富山市民討論会が
二十九日、富山市大手
町の富山国際会議場で
あり、抽選などで選ば

れた二十五人が、市民
目線から市の課題を話
し合った。
市と富山青年会議所
が二〇一〇年から毎年

開いており、今回は地
産地消とスポーツ振興
をテーマにした。
市職員が野菜の生産
が少くない県の農業実態

ついていた里山で、人表の五十田由子さん
自然の関係を見つめ(富山)が「本当にもった
ずのが狙いだ。二〇 いないでしよう」と呼
九年に発足した会 び掛けた。
、一〇年からは県の 林業が曲がり角に立
の間に考える。

や、直売所で地場産野
菜の普及を目指す市の
取り組みを紹介。市民
は「直売所がどこにあ
るのかわからない」「地
元ならではの食材にレ
シビをつけてほしい」
「サポートがないと耕
作放棄地を減らすのは
難しい」と意見した。
午後からは、カタール
・富山の清原邦彦社長
と富山クラウジーズの
黒田祐代表を招き、ス
ポーツ振興策を話し合
った。
(住彩子)